平成２７年度版　川を題材とした

総合的な学習の時間

活動事例集













平成２８年３月

岐阜県県土整備部河川課・砂防課

岐阜県河川協会・岐阜県砂防協会

はじめに

平成１２年度から始まった小中学校の「総合的な学習の時間」において、川を題材とした学習に取り組む小中学校に対し、岐阜県河川課及び砂防課では、平成１４年度から支援を行ってきました。

また、県では、「清流」の恵みに感謝し、「清流」に育まれた、自然・歴史・伝統・文化・技をふるさとの宝物として、活かし、伝えるため、平成２５年度に「清流の国ぎふ」の基本理念となる「清流の国ぎふ憲章」を発表しました。

この様な背景の下、次の世代を担う子ども達に川への関心や防災意識を高めてもらうため、川の中に入り、川とふれ合いながら学習する場を提供するなど、川を題材とした「総合的な学習の時間」への支援に積極的に取り組んできました。

この冊子は、平成２７年度に各土木事務所でお手伝いをさせていただいた活動事例を紹介させていただくものであり、子ども達の環境学習、防災教育を進められる方々に参考としていただければ幸いです。

平成２８年３月

岐阜県県土整備部 次長兼河川課長 三戸 雅文

砂防課長 名張 誠

目　　次

平成２７年度支援活動一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １

～支援活動事例～

瑞穂市立牛牧小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４

瑞穂市立本田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５

岐阜市立早田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６

北方町立北方西小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７

北方町立北方南小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８

岐阜市立長森南中学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９

北方町立北方小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０

垂井町立東小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１

大垣市立北小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２

垂井町立岩手小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３

大垣市(小学生) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４

組合立東安中学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５

海津市立下多度小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６

養老町立上多度小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７

揖斐川町立谷汲中学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８

美濃市立牧谷小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９

関市立博愛小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２０

関市立上之保小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２１

関市立富野小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２２

関市立洞戸小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２３

関市立安桜小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２４

関市立武儀東小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２５

関市立武儀西小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２６

関市立金竜小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２７

郡上市立牛道小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２８

郡上市立高鷲小学校
海津市立東江小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２９

郡上市立大和南小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３０

郡上市立大中小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３１

郡上市立明宝小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３２

郡上市立和良小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３３

七宗町立神渕小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３４

可児市立広見小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３５
八百津町立潮見小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３６
岐阜県立東濃高等学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３７
川辺町立川辺西小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３８
可児市立広見小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３９
白川町どんぐり会(小学生) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４０
美濃加茂市立山手小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４１
土岐市立濃南小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４２
多治見市立共栄小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４３
多治見市立共栄小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４４
多治見市立池田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４５
多治見市立昭和小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４６
多治見市立根本小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４７
多治見市立滝呂小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４８
土岐市立肥田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４９
瑞浪市立釜戸小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５０
多治見市立共栄小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５１
多治見市立共栄小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５２
多治見市立南姫小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５３
多治見市立市之倉小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５４
多治見市立滝呂小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５５
土岐市立濃南小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５６
多治見市立根本小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５７
多治見市立精華小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５８
名古屋市立稲西小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５９
多治見市立共栄小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６０
多治見市立池田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６１
恵那市立岩邑小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６２
恵那市立大井小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６３
中津川市立加子母小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６４
中津川市立付知北小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６５
中津川市立川上小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６６
中津川市立蛭川中学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６７
下呂市立馬瀬小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６８
下呂市立小坂小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６９

下呂市立萩原小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７０
下呂市立上原小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７１
高山市立宮小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７２
高山市立南小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７３
高山市立北小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７４
高山市立東小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７５
高山市役所（小学生） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７６
高山市立松倉中学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７７
飛騨市立古川小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７８
飛騨市立古川西小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７９
飛騨市立神岡小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８０
飛騨市立古川西小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８１
岐阜県河川課（小学生） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８２
岐阜県砂防課（小中学生） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８３
巻末資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８４
これまでの支援活動の経緯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０７
支援窓口一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１０

平成27年度　総合学習支援活動　一覧表

事務所	No.	月日	支援校名	学年	人数	テーマ	分類				前年継続
							治水	環境	砂防	安全	
岐阜	1	6月12日	瑞穂市立牛牧小学校	4	125	パックテストを用い、近隣の河川の水質について学ぶ		○		○	○
	2	6月25日 6月26日	瑞穂市立本田小学校	4	84	糸貫川の生き物と瑞穂市内を流れる川の水質を調べ、糸貫川の現状を知ろう	○	○		○	○
	3	6月30日	岐阜市立早田小学校	3	69	早田川に棲む生き物や早田川の水質を調べよう		○		○	
	4	7月7日	北方町立北方西小学校	4	36	糸貫川の生き物と水質から河川の現状を学ぶ		○		○	○
	5	9月30日 10月9日	北方町立北方南小学校	4	65	糸貫川の生き物と水質から河川の現状を学ぶ		○		○	
	6	10月6日	岐阜市立長森南中学校	1	128	身近な川に生息する生物を知り、川への興味関心を高めよう		○		○	
	7	10月13日	北方町立北方小学校	4	80	糸貫川の生き物と水質から河川の現状を学ぶ		○		○	
大垣	8	5月20日	垂井町立東小学校	4	67	カワゲラウォッチング	○	○		○	
	9	6月2日 6月6日	大垣市立北小学校	4	98	水のよごれを調べよう		○			
	10	6月30日	垂井町立岩手小学校	1,2	26	岩手川の生物を通じて環境に触れあう	○	○		○	○
	11	7月24日	大垣市(小学生)	-	76	歩いて観よう水門川クリーン作戦		○			○
	12	10月1日	組合立東安中学校	1	120	県内で取組まれる治水事業について	○			○	
	13	10月27日	海津市立下多度小学校	3	21	津屋川の環境や特徴を学ぶ	○	○			○
	14	10月27日	養老町立上多度小学校	4	33	土砂災害及び砂防について			○		○
揖斐	15	10月6日	揖斐川町立谷汲中学校	1	25	管瀬川の水質、生物について	○	○		○	○
美濃	16	6月18日	美濃市立牧谷小学校	5	24	カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ		○		○	○
	17	6月30日	関市立博愛小学校	5	35	カワゲラウォッチング、パックテストを通して武儀川の環境について学ぶ		○		○	○
	18	7月7日	関市立上之保小学校	4	11	カワゲラウォッチング、パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		○		○	○
	19	7月13日	関市立富野小学校	5	18	カワゲラウォッチング、パックテストを通して小野川の環境について学ぶ		○		○	○
	20	7月15日	関市立洞戸小学校	4	15	カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ		○		○	
	21	9月10日	関市立安桜小学校	5	79	カワゲラウォッチング、パックテストを通して関川の環境について学ぶ		○		○	○
	22	9月29日	関市立武儀東小学校	4	10	パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		○		○	○
	23	10月29日	関市立武儀西小学校	4	6	パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		○			
	24	2月18日	関市立金竜小学校	4	97	伝統的防災施設を活用した地域防災教育	○			○	○
郡上	25	5月11日	郡上市立牛道小学校	1,2	26	阿多岐ダムについて	○				
	26	6月24日	郡上市立高鷲小学校 海津市立東江小学校	4	33	水生生物調査、水質調査		○		○	
	27	7月2日	郡上市立大和南小学校	4	16	川を題材とした総合学習	○	○		○	○
	28	7月14日	郡上市立大中小学校	4	20	カワゲラウオッチング		○		○	○
	29	9月11日	郡上市立明宝小学校	4	10	土石流と砂防えん堤の役割		○	○	○	○
	30	1月27日	郡上市立和良小学校	5	11	土石流と砂防えん堤の役割			○	○	○

事務所	No.	月日	支援校名	学年	人数	テーマ	分類				
							治水	環境	砂防	安全	前年継続
可茂	31	5月27日	七宗町立神渕小学校	4	11	川にすむ生物や水質などを調べて、神渕川の姿を知ってもらう		○		○	○
	32	6月16日	可児市立広見小学校	5	141	2010年7月15日に起きた可児川の災害について	○		○	○	○
	33	7月2日	八百津町立潮見小学校	1～4	7	川にすむ生物や水質などを調べて、名場居川の姿を知ってもらう		○		○	
	34	7月3日	岐阜県立東濃高校	2	5	土砂災害から学ぶ、災害に備える	○		○	○	○
	35	7月9日	川辺町立川辺西小学校	5	48	川にすむ生物や水質などを調べて、雄鳥川の姿を知ってもらう		○		○	○
	36	7月14日	可児市立広見小学校	5	141	防災講習とハザードマップの説明	○		○	○	○
	37	7月25日	白川町どんぐり会(小学生)	-	10	川にすむ生物や水質などを調べて新田谷の姿を知ってもらう	○	○		○	○
	38	2月18日	美濃加茂市立山手小学校	5	107	昭和５８年９月２８日の台風１０号による豪雨災害について	○			○	○
多治見	39	5月19日	土岐市立濃南小学校	4	22	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	
	40	5月21日	多治見市立共栄小学校	3	69	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	41	5月26日	多治見市立共栄小学校	4	82	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	42	5月27日	多治見市立池田小学校	4	47	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	43	5月28日	多治見市立昭和小学校	3	57	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	44	6月2日	多治見市立根本小学校	4	97	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	45	6月5日	多治見市立滝呂小学校	5	112	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	46	6月10日	土岐市立肥田小学校	2	63	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	
	47	6月18日	瑞浪市立釜戸小学校	5	25	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	48	6月23日	多治見市立共栄小学校	3	68	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	
	49	6月24日	多治見市立共栄小学校	4	82	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	
	50	7月7日	多治見市立南姫小学校	4	35	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	51	7月10日	多治見市立市之倉小学校	4	49	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	52	8月28日	多治見市立滝呂小学校	2	115	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	53	9月4日	土岐市立濃南小学校	4	22	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	
	54	9月15日	多治見市立根本小学校	4	96	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	55	9月29日	多治見市立精華小学校	5	134	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	56	9月30日	名古屋市立稲西小学校	3	49	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	57	10月6日	多治見市立共栄小学校	4	82	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	
	58	10月6日	多治見市立池田小学校	4	46	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○

事務所	No.	月日	支援校名	学年	人数	テーマ	分類				
							治水	環境	砂防	安全	前年継続
恵那	59	6月12日 6月25日	恵那市立岩邑小学校	4	57	ダム、災害及び河川環境を学ぶ	○	○		○	○
	60	6月22日 6月23日	恵那市立大井小学校	4	53	カワゲラウォッチングにより横町川の水質について学ぶ	○	○		○	○
	61	6月29日	中津川市立加子母小学校	4	34	カワゲラウォッチングにより白川の水質について学ぶ	○	○		○	
	62	6月30日	中津川市立付知北小学校	4	31	カワゲラウォッチングにより付知川の水質について学ぶ	○	○		○	
	63	7月7日	中津川市立川上小学校	4,5	16	カワゲラウォッチングにより川上川の水質について学ぶ	○	○		○	
	64	7月13日	中津川市立蛭川中学校	3	36	カワゲラウォッチングにより和田川の水質について学ぶ	○	○		○	○
下呂	65	6月15日	下呂市立馬瀬小学校	3,4	25	身近な川に棲む生き物を採取調査し水質を知る		○		○	
	66	7月15日	下呂市立小坂小学校	4	31	身近な川に棲む生き物を採取調査し水質を知る		○		○	
	67	7月14日	下呂市立萩原小学校	5	77	身近な川に棲む生き物を採取調査し水質を知る		○		○	
	68	7月14日	下呂市立上原小学校	1,3,4	26	身近な川に棲む生き物を採取調査し水質を知る		○		○	
高山	69	5月28日	高山市立宮小学校	5	26	カワゲラウォッチング、川と山の災害について	○	○	○	○	○
	70	6月11日	高山市立南小学校	4	66	カワゲラウォッチング、山と川の安全利用講習	○	○		○	○
	71	6月17日	高山市立北小学校	4	107	カワゲラウォッチング、川の安全利用講習	○	○		○	
	72	7月14日	高山市立東小学校	5	91	カワゲラウォッチング、川の安全利用講習	○	○		○	○
	73	7月22日	高山市役所(小学生)	−	110	カワゲラウォッチング、山と川の安全利用講習	○	○		○	○
	74	8月4日	高山市立松倉中学校	1〜3	12	カワゲラウォッチング、山と川の安全利用講習	○	○		○	
古川	75	6月22日	飛騨市立古川小学校	4	74	カワゲラウォッチングを通し、河川環境の保全について理解を深める		○		○	
	76	7月2日	飛騨市立古川西小学校	4	50	カワゲラウォッチングを通し、河川環境の保全について理解を深める		○		○	○
	77	7月3日	飛騨市立神岡小学校	4	56	カワゲラウォッチングを通し、河川環境の保全について理解を深める		○		○	○
	78	10月23日	飛騨市立古川西小学校	5	46	伝統的防災施設を活用した地域防災教育	○			○	○
県庁	79	7月27日	岐阜県河川課(小学生)	−	34	水環境イベント清流長良川を学ぼう	○	○		○	
	80	10月31日	岐阜県砂防課(小中学生)	−	16	砂防を学ぶ			○		
計	80				4,360		48	69	8	73	50

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	瑞穂市立牛牧小学校	担当教員名	広瀬先生	対象学年・人数	４年生１２５名
実　施　日	６月１２日(金)		実施場所	牛牧小学校	
テ　ー　マ	パックテストを用い、近隣の河川の水質について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：パックテストの実施

ＣＯＤパックテストの方法について説明し、採水箇所ごとに検査を行う。



学習内容②：テスト結果の取りまとめ

ＣＯＤパックテストの結果を取りまとめ、各班の結果を比較する。



学習内容③：河川の水質について考える

採水箇所により河川の水質が異なることや、ジュースを加えた場合に水質が変化することについて考える。



学習内容④：

【学習結果と考察】

- 犀川、五六川の上流と下流の水質を COD パックテストにより調べた結果、上流に比べ下流の水質が悪いことが分かった。
- きれいな水に少量のジュースを加えるだけで、魚が棲めなくなるほど水質が悪くなることが分かり、川の水をきれいに保つことの大切さを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- パックテストを行い身近な河川の水質を調べることで、川の環境について興味を持ってもらえた。
- 河川にゴミ等を捨てると、水質が悪化することを理解してもらうことができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：遠藤　浩	電話番号（内線）	０５８－２１５－０９７８

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	瑞穂市立本田小学校	担当教員名	宮島先生	対象学年・人数	４年生　８４名
実　施　日	６月２５日(木)、６月２６日（金）		実施場所	糸貫川（糸貫川運動公園付近）、本田小学校多目的室	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 糸貫川の生き物と瑞穂市内を流れる川の水質を調べ、糸貫川の現状を知ろう		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：川とのふれあい方を学ぼう

実際に川に入り、糸貫川に生息する水生生物を採取することにより、身近な河川の自然環境について学んだ。



学習内容②：生き物の名前を調べよう

自分たちで捕まえた生き物を学校へ持ち帰り、種類ごとに分け、図鑑と見比べながら名前や特徴を調べた。



学習内容③：瑞穂市内を流れる川について知ろう

瑞穂市内を流れる、糸貫川・五六川・中川の水を採取し、COD を調べ、それぞれの川の水質の違いから、瑞穂市内の河川の現状を学んだ。



学習内容④：土木事務所の仕事を知ろう

岐阜土木事務所の仕事内容（主に河川砂防課の仕事）について紹介し、土木事務所の仕事について学んだ



【学習結果と考察】

- 身近な河川とふれあい、そこに棲む生物について学ぶことができた。
- 瑞穂市内を流れる河川ごとの水質の違いを確認し、同じ川でも上流と下流では水質が違うことを学んだ。
- 川に捨てられているゴミの量や水の濁り具合など、子どもたちの目で河川環境を調べた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 学校近隣の河川で生物調査を行うことにより、川への関心が一層高まったと思う。
- 室内での学習について、生き物調べと水質調査をそれぞれ３０分程度で実施したが、もう少し時間を確保する必要があった。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（2 人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：畑中　章吾	電話番号（内線）	０５８－２１５－０９７８

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	岐阜市立早田小学校	担当教員名	轟先生	対象学年・人数	３年生　６９名
実　施　日	６月３０日(火)		実施場所	早田川（早田西公園付近)、早田西公園	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 早田川に棲む生き物や早田川の水質を調べよう		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：早田川の生き物を捕まえよう

早田川に生息する水生生物を採取し、学校の近くを流れる川の自然環境について学んだ。



学習内容②：早田川にいた生き物はなんだろう

自分たちで採取した水生生物を観察し、名前や特徴を学び、そこから早田川の水質について理解を深めた。



学習内容③：早田川の水質を学ぼう

早田川の水、公園の井戸の水、ジュースを混ぜた川の水について、COD ﾊﾟｯｸﾃｽﾄを用いた比較実験により、環境への影響について学んだ。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・学校の近くの川に棲む生き物について学ぶことができた。
・３種類の水の水質を調べることにより、早田川の水質がどの程度なのかを学ぶことができた。また、空き缶、ペットボトル等のポイ捨てによる川への影響も学ぶことができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・学校の近くの身近な川に入り、生物調査を実施することで、川への関心が高まったと思う。
・どうしても川に入っている時間が長くなり、水質を調べる実験の時間が足りなくなる傾向があるので、次回は時間配分を見直す必要がある。

備　　考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料８４頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（2 人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：畑中　章吾	電話番号（内線）	０５８－２１５－０９７８

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	北方町立北方西小学校	担当教員名	太田先生	対象学年・人数	４年生３６名
実　施　日	７月　７日(火)		実施場所	糸貫川（清流平和公園付近）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 糸貫川の生き物と水質から河川の現状を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	北方町	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

糸貫川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川底の様子など糸貫川の現状を学ぶことができた。



学習内容②：糸貫川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、図鑑を利用し名前を調べ、発表した。



学習内容③：糸貫川の水質を知る

糸貫川の水、清流平和公園の井戸水、川の水にジュースをたらした水について、COD を検査・比較し発表した。



学習内容④：河川環境を調べる

川に捨てられているゴミの量や水の濁り具合など、子どもたちの目で河川環境を調べた。



【学習結果と考察】

- 身近な川に棲む生物を知ることができた。
- 糸貫川の水と他 2 種類の水の COD を比較することにより、糸貫川の水質を学ぶことができた。
- 糸貫川の水質を知ることで、川を大切にすることの重要さを学ぶことができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 清流平和公園ができたおかげで、糸貫川がより身近な川になった。
- 授業後のアンケートからも、川で遊びたい、魚を捕りたいなど川に興味を持つ子が多くなった。

備　　考	7 月 17 日（金）中日新聞（岐阜・近郊版）に総合学習の記事が掲載されました。 岐阜県自然工法管理士（2 人参加）　　【巻末資料８５頁掲載】

記入者	所属：河川第一係	氏名：畑中　章吾	電話番号（内線）	０５８－２１５－０９７８

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	北方町立北方南小学校	担当教員名	後藤先生 西脇先生	対象学年・人数	４年生　６５名
実　施　日	９月３０日(水)、１０月　９日（金）		実施場所		糸貫川、清流平和公園、北方南小多目的室
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 糸貫川の生き物と水質から河川の現状を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	北方町	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぼう

糸貫川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川底の様子など糸貫川の現状を学ぶことができた。



学習内容②：糸貫川の生態を学ぼう

採取した水生生物を種類ごとに分け、土木事務所職員から名前や特徴について説明を受けた。きれいな川に棲む生物が多いことを学んだ。



学習内容③：糸貫川の水質を知ろう

糸貫川の水、清流平和公園の井戸水、川の水にジュースを混ぜた水について、COD を検査・比較し発表した。



学習内容④：ペットボトルで実験してみよう

500ml のペットボトルに川の水を 2/3 程度入れ、30 回振った時の中の水の泡立ち方から簡易的に水質を調べた。



【学習結果と考察】

- 身近な川に棲む生物を知ることができた。
- 糸貫川の水と他 2 種類の水の COD を比較することにより、糸貫川の水質を学ぶことができた。
- 糸貫川の水質を知ることで、川を大切にすることの重要さを学ぶことができた。
- 川に捨てられているゴミの量や水の濁り具合など、子どもたちの目で河川環境を調べた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 清流平和公園ができたおかげで、糸貫川がより身近な川になった。
- 授業後のアンケートからも、川で遊びたい、魚を捕りたいなど川に興味を持つ子が多くなった。

備　　考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料８６頁掲載】 10 月 2 日（金）朝日新聞（地域総合版）に記事が掲載されました。【巻末資料８７頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（2 人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：畑中　章吾	電話番号（内線）	０５８－２１５－０９７８

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	岐阜市立長森南中学校	担当教員名	馬渕先生	対象学年・人数	1年生　128名
実　施　日	１０月６日(火)		実施場所	境川	
テ　ー　マ	身近な川に生息する生物を知り、川への興味関心を高めよう		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	NPO法人 e-plus 生涯学習研究所	

学習内容①：　川とのふれあい方を学ぶ

境川に生息する水生生物を採取し、身近な河川の自然環境について学んだ。



学習内容②：境川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとにわけ、境川に生息する生物やその特徴について学んだ。



学習内容③：川の危険性について

まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということや、川遊びをする際の注意点を学んだ。



学習内容④：

【学習結果と考察】

- 身近な川に生息する生物の様子や種類を知ることによって、川への興味関心を高めることができた。
- 川は危険な場所にもなるということを理解し、川遊びの際に注意しなければならないことを学ぶことができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川に入る機会や、水生生物を採取する機会が少ない生徒が多かったため、積極的に生物を採取し、楽しそうに参加していた。
- 学校側で事前に、川に入る際の注意や境川の水生生物の生態等を学習していただいたおかげで、スムーズに進めることができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（2人参加）

記入者	所属：河川第二係	氏名：渡邉佳奈	電話番号（内線）	058-215-0978

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	北方町立北方小学校	担当教員名	後藤先生 平島先生	対象学年・人数	４年生　８０名
実　施　日	１０月１３日(火)		実施場所	糸貫川（清流平和公園付近）、清流平和公園	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 糸貫川の生き物と水質から河川の現状を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	北方町	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

糸貫川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川底の様子など糸貫川の現状を学ぶことができた。



学習内容②：糸貫川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、職員から名前や特徴を教わり、気付いたことをメモした。



学習内容③：糸貫川の水質を知る

糸貫川の水、清流平和公園の井戸水、川の水にジュースを混ぜた水について、COD を検査・比較し発表した。



学習内容④：川の危険を知ろう

川の防災情報のカードを配布し、川の危険を学ぶことができた。



【学習結果と考察】

- 身近な川に棲む生物を知ることができた。
- 糸貫川の水と他 2 種類の水の COD を比較することにより、糸貫川の水質を学ぶことができた。
- 糸貫川の水質を知ることで、川を大切にすることの重要さを学ぶことができた。
- 川に捨てられているゴミの量や水の濁り具合など、子どもたちの目で河川環境を調べた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 清流平和公園ができたおかげで、糸貫川がより身近な川になった。
- 川に入るには少し肌寒く、今後はもう少し早い時期に実施できるとよいと思う。

備　　考	10 月 20 日（火）　中日新聞（岐阜・近郊版）に総合学習の記事が掲載されました。 岐阜県自然工法管理士（2 人参加）　【巻末資料８８頁掲載】

記入者	所属：河川第一係	氏名：畑中　章吾	電話番号（内線）	０５８－２１５－０９７８

様式①　　（　大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	垂井町立　東小学校	担当教員名	矢野・長瀬先生	対象学年・人数	４年生　６７名
実　施　日	5 月　20 日(水)		実施場所		相川（不破中学校南）
テ　ー　マ	水生生物を指標にした水質調査 （カワゲラウォッチング）		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	TSUCHIYA 環境財団	

学習内容①：　川の危険の学習と親しみ方

川で遊ぶ際の危険の避け方、また安全に配慮した楽しみ方を学んだ。



学習内容②：川の生き物の生息場所学習

どんな生き物がどんな場所に生息しているか、実際に捕獲して知ることができた。



学習内容③：生き物の分類

捕獲した生き物を、種類ごとに分類。生き物の見分け方や、種類の違いを学習することができた。



学習内容④：水のきれいさの調査

生息している生物の種類と数によって、相川の水がきれいかどうか、調査を実施。相川はきれいな水、もしくはややきれいな水との判定。



【学習結果と考察】

- 垂井東小学校では、毎年 4 年生が同じ場所での学習を行っており、継続的に記録を残している。
- 調査日前の降雨状態により、河川の状況が変わるが、毎年おおむね、ややきれいな水質（ホタルやカワニナが生息可能）という結果がでている。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 左右岸の水深の違いを利用して川の安全と危険の違いを学習できた。
- 対象地は浅く、見晴らしが良いので、比較的安全に川遊びを体験できた。

備　考	岐阜県自然工法管理士（3 人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：豊福　洋生	電話番号（内線）	0584-73-1111（372）

様式①　　（　大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	大垣市立北小学校	担当教員名	岩瀬先生	対象学年・人数	4 年生　98 名
実　施　日	６月２日（火），６日(土)		実施場所	北小学校とその周辺	
テ　ー　マ	ふるさと大垣科 「水のよごれを調べよう」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　身近な川などの水の汚れを調べる

1 回目（2 日）の授業では、校外に出て小学校まわりの自噴水や用水路などの、水を採取してその場でパックテストを行い、PH や COD の値を調べ、身近のところを流れる川などの汚れを学んだ。



学習内容②：ジュースなどでパックテスト

2 回目（6 日）の授業では、各生徒が自宅から持ってきたジュースなど、普段飲食しているものについて、グループに分かれて、パックテストを行い汚れの状態を調べた。



学習内容③：みんなでグループ発表

最後に、各グループの結果を発表してもらい、表にまとめて他のグループと結果を比較しました。



学習内容④：

【学習結果と考察】

- 北小のまわりの水は、鯉が住めるくらいのきれいさだった。
- みそ汁やジュースなどは川の水にくらべ、COD ベースで何千、何万倍も汚いことが分かった。
- 鯉が住めるくらいきれいな川にするため、普段の生活の中で気をつけていくことを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 自分たちが住んでいるまわりの水のきれいさと、川を大切にする気持ちを生徒に抱かせることができたと感じている。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：牧村　尚浩	電話番号（内線）	0584-73-1111(373)

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	垂井町立岩手小学校	担当教員名	荒川・赤塩先生	対象学年・人数	1.2 年生　26 名
実　施　日	６月３０日(火)		実施場所	岩手川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 岩手川の生物を通じて 環境に触れ合う		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	TSUCHIYA 環境財団	

学習内容①：　川との触れ合い方を学ぶ

岩手川に実際に入り、水生生物の採取を行うことで、どんな場所にどんな魚や水生昆虫が生息しているのか学ぶことができた。



学習内容②：岩手川の生態を学ぶ

岩手川で採取した水生生物を種類ごとに分け、その生物の特徴などを観察することで、身近な川にどのような生物が生息しているか体感できた。



学習内容③：川の危険性について

梅雨時の台風や豪雨により、身近な川がどのように変化するのか、川の危険性について学ぶことができた。



学習内容④：

【学習結果と考察】

岩手川上流ではアユなどの魚が採取され、身近な川に珍しい魚が生息していることが学習できた。
以上のことから、岩手川の水質は良いと考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川の危険性などについて学習できた。
- 身近な川で水生生物を採取することで川への愛着感が持てるようになった。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（3 人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：山田　真嘉	電話番号（内線）	0584-73-1111（373）

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	大垣市	担当教員名	―	対象学年・人数	小学生他　７６名
実　施　日	７月２４日(土)		実施場所		水門川（貴船広場周辺）
テ　ー　マ	水門川の川底学習会 「歩いて観よう水門川クリーン作戦」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 防災	
			連携機関	水門川クリーン作戦実行委員会	

学習内容①：　水門川の生態を学ぶ

水門川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。



学習内容②：水門川の環境を学ぶ

現状の水門川がどのような状態であるか、ゴミを拾うことにより環境を保つことができることを学ぶことができた。



学習内容③：水生生物を学ぶ

水生生物の捕獲方法や各種生物の居場所を知り、どのような生物がどのくらい生息しているのかを学ぶことができた。



【学習結果と考察】

- 水門川は、アユ、カマツカ、オイカワ、ヨシノボリ、ナマズ、スズキ、ボラ、モズクガニ、スジエビなどの在来種が多くみられたことから、多種多様な生物が生息し、良好な河川環境であると考えられる。
- しかしながら、オオクチバス、アメリカザリガニなどの外来種も見られた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子どもたちは、川の中に魚がたくさんいることについて驚いていた。さらにスズキ、ボラがいたことにより海と繋がっていることを確認し、清流が保たれていることを実感していた。
- また、空き缶やペットボトルのゴミが多いことにも驚いていたため、ハリヨがすめるようなきれいな川にしなければいけないという環境に関しての興味をもつようになった。今後、環境学習へと導きたい。

備　　考	岐阜県自然工法管理士　　１８人参加

記入者	所属：河川係	氏名：山田　真嘉	電話番号（内線）	0584-73-1111（373）

様式①　　（　大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	組合立　東安中学校	担当教員名	浦木先生	対象学年・人数	１年生約１２０名
実　施　日	１０月１日(木)		実施場所	東安中学校	
テ　ー　マ	県内で取組まれる治水事業について		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：県内の治水事業について

学校側から、治水を中心にした川についての知識や安八郡の過去の水害について講義してほしいとの要請を受け、過去に西濃地区で被害が大きかった水害について説明すると共に、ハード面とソフト面の観点から行政で取り組んでいる水害対策について説明した。



学習内容②：昨今の降雨と水害について

過去 10 年から 30 年前の降雨と比べ、時間 80㎜ 以上の降雨の回数が増加傾向にあることが確認された。また、県内で最近起こった洪水被害について学び、水害は身近な問題として認識してもらうようにした。



学習内容③：西濃地域特有の輪中施設について

本地域も含み西濃地域には、輪中という伝統的防災施設があり、長年にわたり地域でその施設を守りながら、水害から自分たちの身を守ってきたことを学んだ。



学習内容④：西濃地域特有の自然環境の保全

本地域には、ハリヨやスナヤツメなどの希少な水生生物が生息しており、それらの生息空間に配慮した川づくりについて紹介し、自然と共生した川づくりが進められていることを学んだ。



【学習結果と考察】

- 西濃地域で過去に起こった水害について、理解するとともに守っていかなければいけない輪中などの伝統的防災施設について、更なる理解を深めることが出きた。
- 県で取り組んでいる、ハード・ソフト両面での治水対策について理解してもらうことができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 本地域に特有な輪中について、その意味を深く理解するとともに、それが現代でも地域を守る重要な施設であることを生徒に理解してもらうことができた。
- ハザードマップなどの周知を行い、生徒の防災に対する意識を高めることができた。

備　　考	自然工法管理士（1 人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：牧村　尚浩	電話番号（内線）	0584-73-1111(373)

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	海津市立下多度小学校	担当教員名	嶋先生	対象学年・人数	３年生２１名
実　施　日	１０月２７日(火)		実施場所	津屋川	
テ　ー　マ	「川の環境について学ぼう」 津屋川の環境や特徴を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	海津市役所　建設課	

学習内容①：　津屋川の特徴を学ぶ

津屋川の特徴を知るために堤防を散策し、他の河川との違いや養老山地との関わりを学ぶことができた。



学習内容②：パックテストについて

パックテストについて説明を行い、河川ごとに検査を行った。



学習内容③：テスト結果の比較

テスト結果について、取りまとめを行い、川の水質について比較を行った。



学習内容④：

【学習結果と考察】

- 水質調査としてパックテストを学習した。家庭から流されている物がどれだけ川へ影響があるのかを比較して学習することができた。
- 津屋川のハリヨ池などの湧水地と川ではどれくらい水質に違いがあるのか学習できた。
- 河川の水質をきれいに保つことの大切さについて学習できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- パックテストという簡易な検査で、身近にある河川の水質を調べることで、川について興味をもってもらえた。
- ハリヨ等の水質の綺麗な所に棲む魚への影響についても学習することができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：山田　真嘉	電話番号（内線）	0584-73-1111（373）

様式①　　（　大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	養老町立 上多度小学校	担当教員名	近藤先生	対象学年・人数	４年生　３３名
実　施　日	１０月２７日(火)		実施場所	小倉谷（砂防えん堤、護岸）	
テ　ー　マ	土砂災害及び砂防について		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：土砂災害と砂防について

土砂災害には、「土石流」「がけ崩れ」「地すべり」があること。また、その発生原因や規模を知ることで、土砂災害から身を守る方法を学んだ。



学習内容②：地元の特徴を学ぶ

当地域は、養老山系の扇状地に位置し、小倉谷が家や道路などより高い所を流れていることや、近年、西濃地域で土砂災害が実際に起きていることを学んだ。



学習内容③：砂防施設の役割について（模型実験）

土石流に対する砂防えん堤や、がけ崩れに対する擁壁の機能について、模型を使うことで、分かり易く、楽しく、体験することができた。



学習内容④：砂防施設の役割について（現地見学）

現地見学により、砂防えん堤の大きさを実際に見て、砂防えん堤の役割や土石流の恐ろしさを肌で感じることができた。



【学習結果と考察】

- 教室でのスライドで見た土石流の映像を、現地見学での実際の砂防えん堤と比較して、その恐ろしさを学ぶことができた。
- 模型実験では、砂防施設があると、家や橋などの被害が少なくなることを理解することができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 土砂災害の恐ろしさや砂防施設の役割について、映像、模型及び現地見学により体験することで、より分かり易くなるよう、心がけた。
- 毎年、４年生を対象に学習を行うことにより、児童を通じて家庭から地域住民までが「土砂災害」について理解し、もしもの時に避難する方法などを考えてくれることを期待している。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（２人参加）

記入者	所属：　砂防係	氏名：伊藤　隆	電話番号（内線）	0584-73-1111(375)

様式①　　（揖斐土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	揖斐川町立谷汲中学校	担当教員名	高橋先生	対象学年・人数	１年生　２５名
実　施　日	平成２７年１０月６日(火)		実施場所	管瀬川	
テ　ー　マ	管瀬川の水質について 管瀬川に生息する生物について 身の周りの危険について		分　類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	揖斐川町役場谷汲振興事務所	

学習内容①：管瀬川の水質調査について

管瀬川のＰＨ、ＣＯＤを実際に測定することにより、簡易なパックテストの測定方法を学んだ。その結果を基に、管瀬川の水質状況を把握した。



学習内容②：生物捕獲調査について

魚の棲家を探し、生物の生息場所を学んだ。また、河川内で活動することにより、河川に潜む危険性を体験した。



学習内容③：管瀬川に生息する生物について

講師から捕獲した生物の説明を受けた。
地元の河川には、どんな生物が生息しているのか学んだ。



学習内容④：身の周りの危険について

県のＨＰより、身近の河川の水位や土砂災害の危険区域を簡単に確認できることを学んだ。



【学習結果と考察】

- 水質検査の結果、管瀬川はより多くの生物が生息できるきれいな河川であることが分かった。
- 実際に管瀬川へ入り、足元を取られる体験や流水の強さを体験することで、水辺に潜む危険性を学んだ。
- 管瀬川には、絶滅危惧種である「スジシマドジョウ小型種東海型」から外来種である「アメリカザリガニ」など多種多様の生物が生息していることを理解した。
- 各県で自然災害が起きているが、地元にも自然災害の危険が潜んでおり、それらの情報を入手できることを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 実際に水辺で遊ぶ機会が少なくなっている今日だが、総合的な学習を通じて、水辺に潜む危険性を学べる貴重な経験を提供できた。
- 講師を招き、解説いただくことで、より詳しく、印象強い総合的な学習を実施できた。
- 「ぎふ川と道のアラームメール」と「ぎふ山と川の危険個所マップ」を紹介し、身の回りに起こりうる自然災害を認識するとともに、気象情報や防災情報の入手方法を周知することができた。

備　　考	岐阜県希少生物保護推進員　１人参加 岐阜県自然工法管理士　２人参加

記入者	所属：河川砂防係	氏名：大野哲也、上野公彦	電話番号（内線）	0585-23-1111(342)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	美濃市立牧谷小学校	担当教員名	奥村先生	対象学年・人数	５年生２４名
実　施　日	６月１８日(木)		実施場所	板取川（蕨生大橋上流）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　板取川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる板取川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているか学んだ。



学習内容②：指標生物による板取川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類、判定用の下敷などを参考に指標生物を探し、板取川の水質を判定した。



学習内容③：パックテストによる板取川の水質判定

直接採取した河川水をパックテストにより水質検査した。河川水との比較として、味噌汁やジュースなどを水道水で希釈したものでもパックテストを実施した。



学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。



【学習結果と考察】

・捕獲した生物:カワゲラ、ヒラタカゲロウ、オオヤマカゲロウ、コカゲロウ、タニガワカゲロウ、マダラカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、ヒラタドロムシ、ヘビトンボ、オオヤマトンボ
・指標生物による水質判定:きれい～すこしきたない
・水道水で 1,000 倍に希釈した味噌汁や水生生物調査の結果から板取川の水質が良好であることを学んだ。
以上のことより、板取川の水質はきれい～少しきたないと考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川で遊ぶことは多いが虫を捕まえることは初めての子が多かったため、川には多くの虫が生息していることや、川に棲む生物の種類から水質がわかることに非常に驚いていた。
- 生物調査の実施箇所が径２０ｃｍ程の石が点在している河床であったため、石の上は非常に滑りやすく、子ども達は注意深く歩くことで、川との接し方を学ぶことができた。

備　　考	６月１９日（金）岐阜新聞（中濃版）、中日新聞（中濃版）に記事が掲載されました。 子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料８９頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（３人参加）

記入者	所属：　河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立博愛小学校	担当教員名	長野先生	対象学年・人数	５年生３５名
実　施　日	６月３０日(火)		実施場所	武儀川（武芸川スポーツ公園上流）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して武儀川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　武儀川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる武儀川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているか学んだ。



学習内容②：指標生物による武儀川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類、判定用の下敷などを参考に指標生物を探し、武儀川の水質を判定した。



学習内容③：パックテストによる武儀川の水質判定

直接採取した河川水をパックテストにより水質検査した。河川水との比較として、味噌汁やジュースなどを水道水で希釈したものでもパックテストを実施した。



学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。



【学習結果と考察】

・捕獲した生物:カワゲラ、ヒラタカゲロウ、コカゲロウ、タニガワカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、ヒラタドロムシ、ニンギョウトビゲラ、オニヤンマ、ガガンボ
・指標生物による水質判定:きれい～すこしきたない
・水道水で 1,000 倍に希釈した味噌汁や水生生物調査の結果から武儀川の水質が良好であることを学んだ。
以上のことより、武儀川の水質はきれい～少しきたないと考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- カワゲラが合計５匹以上いたため、生物調査の結果から、武儀川の水質環境は非常に良いと感じた。
- カワゲラウォッチング実施場所周辺の河原にてごみが落ちていたため、子どもたちは「見つけたごみを拾う」等の感想を持つなど、今後の河川との接し方も考えてくれていた。
- 水質検査の結果から、ジュースを混ぜた水は魚などの生物にとって棲めなくなると知り、川の環境を保つために今後気を付けようという感想が多々あった。

備　　考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９０頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（３人参加）

記入者	所属：　河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立上之保小学校	担当教員名	大口先生	対象学年・人数	４年生１１名
実　施　日	７月７日(火)		実施場所		津保川(和田野橋下流左岸)
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　津保川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる津保川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているか学んだ。



学習内容②：指標生物による津保川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類、判定用の下敷などを参考に指標生物を探し、津保川の水質を判定した。



学習内容③：パックテストによる津保川の水質判定

直接採取した河川水をパックテストにより水質検査した。河川水との比較として、ジュースを水道水で希釈したものでもパックテストを実施した。



学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。



【学習結果と考察】

・捕獲した生物:カワゲラ、ヒラタカゲロウ、コカゲロウ、タニガワカゲロウ、ヒラタドロムシ、ヘビトンボ、ニンギョウトビゲラ
・指標生物による水質判定:きれい～すこしきたない
・水道水で 1,000 倍に希釈したジュースや水生生物調査の結果から津保川の水質が良好であることを学んだ。
　以上のことより、津保川の水質はきれい～少しきたないと考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子供たちは川の中では楽しそうにしていた。
- 普段見慣れない川の虫と接することで川とより密接に触れ合うことができた。
- パックテストにてジュースを用いた検査をするときに、１リットルの水にたった一滴たらすだけでかなり汚くなると知り、非常に驚いていた。
- 子供たちは津保川をきれいな環境を保つためにこれからどのようなことをすべきか一生懸命考えていた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　　河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立富野小学校	担当教員名	児山先生	対象学年・人数	５年生１８名
実　施　日	７月１３日(月)		実施場所		小野川（小学校グラウンド前）
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して小野川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　小野川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる小野川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているか学んだ。



学習内容②：指標生物による小野川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類、判定用の下敷などを参考に指標生物を探し、小野川の水質を判定した。



学習内容③：パックテストによる小野川の水質判定

直接採取した河川水をパックテストにより水質検査した。河川水との比較として、ジュースなどを水道水で希釈したものでもパックテストを実施した。



学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。



【学習結果と考察】

・捕獲した生物:ヒラタカゲロウ、タニガワカゲロウ、マダラカゲロウ、チラカゲロウ、コカゲロウ、シマトビゲラ、ヘビトンボ、カワニナ、ヒラタドロムシ、タニシ、サワガニ、ヒル、ミミズ、メダカ、ニンギョウトビゲラ、
・指標生物による水質判定:きれい～きたない
・水道水で 1,000 倍に希釈したジュースや水生生物調査の結果から小野川の水質はややきれいということを学んだ。
以上のことより、小野川の水質はややきれいという結果になったがきれいな川に棲む生物も生息できると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子供たちは川の中では楽しそうにしていた。
- ヒラタドロムシといったややきれいな川に棲む生物が多く捕獲できた一方、ヒルやミミズといった汚い川に棲む生物が少数捕獲されたため、子ども達は若干残念そうにしていた。
- カワニナを多く捕獲できていたため、小野川の特徴である蛍の住む川の印象を生物調査より見受けられた。

備　　考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９１頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（３人参加）

記入者	所属：　　河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立洞戸小学校	担当教員名	野村先生	対象学年・人数	４年生１５名
実　施　日	７月１５日(水)		実施場所		板取川(洞戸橋下左岸河原)
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　板取川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる板取川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているか学んだ。



学習内容②：指標生物による板取川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類、判定用の下敷などを参考に指標生物を探し、板取川の水質を判定した。



学習内容③：パックテストによる板取川の水質判定

直接採取した河川水をパックテストにより水質検査した。河川水との比較として、ジュースなどを水道水で希釈したものでもパックテストを実施した。



学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。



【学習結果と考察】

・捕獲した生物:カワゲラ、ヒラタカゲロウ、タニガワカゲロウ、マダラカゲロウ、モンカゲロウ、コカゲロウ、シマトビゲラ、ヘビトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ、カワニナ、ニンギョウトビゲラ、ヒラタドロムシ
・指標生物による水質判定:きれい～少しきたない
・水道水で 1,000 倍に希釈したジュースや水生生物調査の結果から板取川の水質が良好であることを学んだ。
以上のことより、板取川の水質はきれい～少しきたないと考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 普段、川で遊んでいる子たちも今まで虫を捕まえる機会は無かったため、多くの虫が川に棲んでいることに驚いていた。
- カワゲラを合計で５匹程度も捕獲できたため、板取川は周辺の景観も相まってとてもきれいな川という印象を受けた。
- カワゲラウォッチング及び水質検査の結果より、板取川の水質が良好であったため、子ども達は非常にうれしそうにしていた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（３人参加）

記入者	所属：　　河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立安桜小学校	担当教員名	辰田先生	対象学年・人数	５年生７９名
実　施　日	９月１０日(木)		実施場所	関川（春日橋下流左岸）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して関川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	関市役所　土木課	

学習内容①：　関川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる関川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているか学んだ。



学習内容②：指標生物による関川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類、判定用の下敷などを参考に指標生物を探し、関川の水質を判定した。



学習内容③：パックテストによる関川の水質判定

直接採取した河川水をパックテストにより水質検査した。河川水との比較として、ジュースなどを水道水で希釈したものでもパックテストを実施した。



学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。



【学習結果と考察】

・捕獲した生物:ヒラタカゲロウ、ヒラタドロムシ、ウズムシ、オニヤンマ、コオニヤンマ、コガタシマトビゲラ
・指標生物による水質判定:きれい～少しきたない
・水道水で 1,000 倍に希釈したジュースや水生生物調査の結果から関川の水質が良好であることを学んだ。
以上のことより、関川の水質はきれい～少しきたないと考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 前日までの降雨や田からの排水により河川が増水してしたため虫も数種類しか捕獲することが出来ず、十分なカワゲラウォッチングができなかった。
- いつもより若干流れが速い川に入ることで、増水の影響による川の危険性を実際に感じることができた。
- ジュースを用いた水質実験を行うことでジュースを混ぜた水がとても汚くなると知り、今後川に空き缶などを捨てている人がいたら注意しよう、という意見もあった。

備　　考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９２頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（３人参加）

記入者	所属：　河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立武儀東小学校	担当教員名	渡辺先生	対象学年・人数	４年生１０名
実　施　日	９月２９日(火)		実施場所		武儀東小学校理科室
テ　ー　マ	パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：パックテストによる津保川の水質判定

直接採取した津保川の水をパックテストにより水質検査した。河川水との比較として、生徒が持ってきたジュースなどを水道水で希釈したものでもパックテストを実施した。



学習内容②：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。



【学習結果と考察】

・河川及び水道水で 1,000 倍に希釈したジュース等を用いた水質検査の結果から、津保川の水質はきれいということを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- お茶、ジュース、牛乳等様々な検体で水質検査をすることで、生活に密接にかかわる多くのものは水質に大きく起因することを学び、その中でも糖類をより多く含めたものは「非常に汚い」結果が顕著に表れることがわかった。
- 津保川の水の水質検査の結果から、ほとんどの班でＣＯＤが「１」という結果となったため、津保川の中流域の水質は非常にきれいということがわかった。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（２人参加）

記入者	所属：　　河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立武儀西小学校	担当教員名	林先生	対象学年・人数	４年生６名
実　施　日	１０月２９日(木)		実施場所		武儀西小学校理科室
テ　ー　マ	パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：津保川の環境についてを学ぶ

津保川の上流、中流、下流及び支川の４つの区間に分けて、水質の環境状態を考察した。



学習内容②：パックテストによる津保川の水質判定

直接採取した津保川の上流、中流、下流及び支川の水の計４種類の河川水をパックテストにより水質検査した。河川水との比較として、ジュースなどを水道水で希釈したものでもパックテストを実施した。



学習内容③：水質判定から環境を学ぶ

水質結果を基に、魚の棲める環境かどうか、また、今後環境を守るためにどのようにすべきか学んだ



【学習結果と考察】

・河川水を数か所及び水道水で 1,000 倍に希釈したジュースの水質検査の結果から津保川中流（学校付近）の水質はややきれいということを学んだ。また、上流から下流にかけて、水質はやや汚くなっていくことを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 津保川の上流から下流の水質の違いを様々な観点から考えることができ、意見を話合う時にみんなが積極的に自分の意見を話すことができていた。
- 津保川の上流から下流までを比較するという観点から津保川全体の水質を検査することで、ほとんど人が住まない箇所と人が多く住む箇所では水質に差があるということがわかった。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（２人参加）

記入者	所属：　河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立金竜小学校	担当教員名	大塚先生	対象学年・人数	４年生９７名
実　施　日	２月１８日(木)		実施場所		金竜小学校音楽室
テ　ー　マ	霞堤の模型を使用した実演により、霞堤の効果を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　説明により霞堤について学ぶ

パワーポイントで川のこと、霞堤のこと、小学校周辺の地域の特色について説明した。



学習内容②：実演により霞堤の効果を学ぶ

模型により霞堤の有無の比較実験をし、霞堤の効果を体験した。



学習内容③：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。



【学習結果と考察】

・普段見慣れている川の基本的なことを学んだ。
・水害の写真を見せることで、水害の怖さを知ることができた。
・霞堤の説明を聞くことで、霞堤の重要性を学んだ。
・模型の実験では霞堤が無い場合は十数秒で越水したが、ある場合は霞堤の部分に水が流入し越水が見られなかった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・川の基本的なことを学ぶことで、川に関して親しみを持ってもらえた。
・実際に起きた水害の写真を見せることで、水害の恐ろしさに関して驚いた様子だった。
・霞堤の仕組みを説明することで、霞堤に関心を持ってもらえた様子だった。
・模型での実演にて、もし自分の家がこんな風になったら、と洪水の恐ろしさと、霞堤の重要性を感じていた。

備　　考	２月１９日（金）岐阜新聞（中濃版）、２月２０日（土）中日新聞（中濃版）に記事が掲載されました。【巻末資料９３頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（２人参加）

記入者	所属：　河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

様式①　　（　郡上土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	郡上市立牛道小学校	担当教員名	日置先生	対象学年・人数	１・２年生　２６名
実　施　日	平成２７年５月１１日(月)		実施場所	阿多岐川(　阿多岐ダム　)	
テ　ー　マ	阿多岐ダムについて ＝ようこそ　あたぎダムへ＝		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	中部電力株式会社	

学習内容①：　他人との挨拶、会話を通じてｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを経験

挨拶、話の聞き方、会話を通じて、生徒と土木職員間でのコミュニケーションを経験してもらえた。



学習内容②：阿多岐ダムのはたらきについて学ぶ

阿多岐ダムのはたらきや施設の必要性を学んでダムの大切さを学んだ。



学習内容③：阿多岐ダム内部や施設を見学

堤体からダム湖を見てダムの規模の大きさや堤体内部に入り、温度差など堤体内・外部での違いを実感してもらえた。



学習内容④：電気について学ぶ

今年７月から始まる水力発電（電気の作り方）を中部電力職員が説明し電気の大切さを学んだ



【学習結果と考察】

- 今回の対象生徒が小学 1,2 年生ということもあり、まずダム見学を通じて「ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの経験」「ﾏﾅｰを守って集団生活の楽しさを体験」という課題を設定した。子供たちの反応を見る限り、達成出来た。
- 低学年向きの説明により、学校の身近にある阿多岐ダムが自分たちの生活を守っているということを認識してもらえた。
- 通常入ることの出来ない堤体内部に入り、堤体からダム湖を見たりしてダムの大きさを実感してもらえた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 小学 1,2 年生が対象であるため、難しい用語を使わないように説明や資料作成には苦労した。
- 学校からの要請があった「ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの経験」「ﾏﾅｰを守って集団生活の楽しさを体験」については効果があったと考える。
- 今回は発電事業が始まることもあり中部電力に協力して頂いた。今後も関係機関と一緒にダムについて PR 出来たらと思っている。

備　　考	5 月 13 日（水）岐阜新聞中濃版に掲載されました。【巻末資料９４頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（２名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：森田茂樹	電話番号（内線）	0575-67-1111(内 343)

様式①　　（　郡上土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	郡上市立 高鷲小学校 海津市立 東江小学校	担当教員名	矢嶋先生 原田先生	対象学年・人数	４年生　２３名（高鷲） １０名（東江）
実　施　日	６月２４日　（水）		実施場所		八百僧谷長良川合流点・教室
テ　ー　マ	八百僧谷（長良川合流点）の水生生物調査、水質調査		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	国土交通省木曽川下流河川工事事務所	

学習内容①：両校対面式

高鷲小学校と東江小学校の両校の対面式と、高鷲小児童が河川調査での注意事項の発表を行った。



学習内容②：水生生物の調査

水生生物の採取を行い、指標生物による水質判定を行った。



学習内容③：両校交流（給食）

生物調査後、高鷲小学校の児童と一緒に給食を食べ、楽しく交流を行った。



学習内容④：両校発表会

高鷲小学校による歓迎会や、両校による学校紹介、上下流の長良川の学習発表を行った。



【学習結果と考察】

- 東江小学校の児童を迎えるにあたって、高鷲小学校の児童がいろいろ準備をして、盛大に歓迎会を行ってくれた。
- 両校で長良川について発表を行うことで、川の上流と下流の違いが学習できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 今回、木曽川下流河川事務所より、郡上市高鷲地内で海津市立東江小学校の校外学習の情報があったため、高鷲小学校と河川学習を合同で行えるよう調整を行った。
- 今年度より長良川の上下流の小学校のつながりができたため、可能であれば毎年継続して交流の支援を行いたい。

備　　考	ＮＨＫニュース、郡上ｹｰﾌﾞﾙﾃﾚﾋﾞにて放映されました。 郡上市広報８月号の表紙に掲載されました。【巻末資料９５頁掲載】

記入者	所属：砂防係	氏名：三宅伸也	電話番号（内線）	0575-67-1111（内 341）

様式①　　（　郡上土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	郡上市立大和南小学校	担当教員名	佐藤先生	対象学年・人数	４年生　１６名
実　施　日	平成２７年７月　２日(木)		実施場所	栗巣川（　徳永橋上流　）	
テ　ー　マ	川を題材にした総合学習		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　川について学ぶ

川は、一度まとまった雨が降ると恐ろしい状態になることを学んだ。また、川での安全な遊び方について学んだ。



学習内容②：COD パックテストによる水質調査

川で採取した水の COD ﾊﾟｯｸﾃｽﾄを行った。また、風呂水（100 倍希釈）や米のとぎ汁（1,000 倍希釈）も同様にﾊﾟｯｸﾃｽﾄを行った。



学習内容③：川とのふれあい方を学ぶ

栗巣川に入って水生生物を採取することで川の歩き方や水生生物がどのような場所に棲んでいるかなどを学んだ。



学習内容④：水生生物の調査

採取した水生生物を調べることにより、川の状況（川の綺麗さの判断基準となる生物）がわかり、川に親しみを持つ事が出来た



【学習結果と考察】

- 栗巣川の COD は、２～４ppm であった。
- 水生生物については昆虫ではカゲロウやトビゲラが、魚類ではカワヨシノボリやアジメドジョウが確認された。
- 綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 水質調査では、生活排水（風呂水や米のとぎ汁）と栗巣川の水と比較し、川の水の綺麗さに驚いている生徒がいました。
- 川の中で水生生物を採取するときの生徒はいきいきしていました。
- 水害でどのような被害があったかを画像を使うなどして工夫した。
- 川の大切さが学べるよう努力していきたい。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（２名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：森田茂樹	電話番号（内線）	0575-67-1111(内 343)

様式①　　（　郡上土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	郡上市立　大中小学校	担当教員名	鷲見先生	対象学年・人数	４年生　２０名
実　施　日	７月　１４日(火)		実施場所	長良川(　大島橋下流　)	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

長良川に入る前に、川での安全な遊び方、川の歩き方、水生生物の採取の仕方等について説明を行った。



学習内容②：水生生物の採取

長良川に入って水生生物を採取することで、水生生物がどのような場所に棲んでいるかなどを学んだ。



学習内容③：水生生物の調査

採取した水生生物を調べることにより、川の状況（川の綺麗さの判断基準となる生物）がわかり、川に親しみを持つ事が出来た。



学習内容④：　各班の発表

グループごと採取した水生生物を発表しどんな生物が棲んでいるかを学ぶことが出来た。



【学習結果と考察】

- 水生生物については昆虫ではカゲロウやトビゲラが、魚類ではウグイ等を採取しました。
- 綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川の中で水生生物を採取するときの生徒はいきいきしていました。
- 川の大切さが学べるよう努力していきたい。

備　　考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９６頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（２名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：森田茂樹	電話番号（内線）	0575-67-1111(内 343)

様式①　　（ 郡上土木事務所　河川砂防課 ）

支援学校名	郡上市立 明宝小学校	担当教員名	清水先生	対象学年・人数	４年生　１０名
実　施　日	９月１１日(金)		実施場所		教室・吉田川(上坂本えん堤)
テ　ー　マ	土石流と砂防えん堤の役割 ＝郡上市明宝の上坂本えん堤＝		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：砂防えん堤と土砂災害について学ぶ

砂防えん堤の現地見学に向かう前に、教室にて土石流と砂防えん堤の役割についての学習を実施した。



学習内容②：魚道について学ぶ

吉田川の上坂本えん堤など、いろいろな魚道が設置されているのを、パンフレットを使って説明した。



学習内容③：上坂本砂防えん堤の見学

砂防えん堤の天端を歩いて見学し、えん堤の大きさを実感した。



学習内容④：魚道の中の様子を観察

アマゴを放流し、箱めがねで、魚道の中の様子を観察した。



【学習結果と考察】

- 学校の身近にある川に多くの砂防えん堤があり、自分たちの生活が砂防えん堤によって守られていることを理解できた。
- 土石流の映像や、災害の事例を見ることでその怖さを知り、えん堤の必要性を再認識した。
- 魚道の構造を知ることで、魚がどのようにして遡上しているのか、魚の道が川の下流から上流まで繋がっていることなどを理解することができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 事前に映像を使って土石流の様子を見せることで土砂災害の怖さを実感し、砂防えん堤の必要性を深く理解してもらうことができた。
- 移動途中のバスの中から、身近なところにたくさんの砂防えん堤の存在が確認でき、これらのえん堤で自分たちの生活が守られていることを理解してもらうことができた。
- 魚道にアマゴを放流し観察を行うことで、魚道について、より興味をもってもらうことができた。

備　　考	9 月 16 日（水）岐阜新聞中濃版に記事が掲載されました。 子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９７頁掲載】 郡上ｹｰﾌﾞﾙﾃﾚﾋﾞにて放映されました。

記入者	所 属：砂防係	氏 名： 三宅伸也	電話番号（内線）	0575-67-1111(内 341)

様式①　　（　郡上土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	郡上市立 和良小学校	担当教員名	古橋先生	対象学年・人数	５年生　１１名
実　施　日	１月２７日　（水）		実施場所		教　室
テ　ー　マ	土石流と砂防えん堤の役割 土砂災害に対する備えについて		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：砂防えん堤の役割について学ぶ

土砂災害のビデオにより土石流の恐ろしさと砂防えん堤の役割について学習した。



学習内容②：土砂災害への対応について

土砂災害の前ぶれや、災害に合わないための日頃の準備について学習した。また、市内の災害事例について説明した。



学習内容③：模型による土石流のしくみの体験

模型を用いて、班ごとにビーズの土石流を発生させ、土石流のしくみや砂防えん堤の効果を楽しく学習した。



学習内容④：川の危険性について

川は楽しいところでもあるが、危険な場所でもあるということや、川遊びをする際の注意点を説明した。



【学習結果と考察】

- 地元を流れる河川でも、大雨などで土石流が発生することを学習できた。
- 実際の土石流の映像を見ることでその怖さを知り、えん堤の必要性を学習した。
- 模型実験を通じて、砂防えん堤の効果を理解することができた。
- 自分たちの生活が砂防えん堤によって守られていることや、土砂災害に対して日ごろからの備えが大切であることが理解できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 土石流の映像や模型実験により土石流について学習し、砂防えん堤の必要性を理解してもらうことができた。
- 土砂災害に対して、日ごろから備えておくべき事柄について理解してもらうことができた。
- 土砂災害に対する地域防災の大切さについて再認識でき、防災に繋がる砂防事業の進め方を理解してもらうことができた。

備　　考	１月２９日（金）岐阜新聞中濃版に記事が掲載されました。子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９８頁掲載】 郡上ｹｰﾌﾞﾙﾃﾚﾋﾞにて放映されました。

記入者	所属：砂防係	氏名：三宅伸也	電話番号（内線）	0575-67-1111（内 341）

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	七宗町立神渕小学校	担当教員名	田口先生	対象学年・人数	４年生　１１名
実　施　日	５月２７日(水)		実施場所	神渕川（神渕小学校前）	
テ　ー　マ	「川をきれいに」 川にすむ生物や水質などを調べて、今の神渕川の姿を知ってもらう		分　類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	七宗町農林建設課	

学習内容①：川について学ぶ

プロジェクタを用いて計 38 枚のスライドにより、川にすむ生物のこと、水質と生物の関係を説明した。



学習内容②：水質を調べる

ＣＯＤパックテストを行い、醤油やコーヒーが水質にどう影響するのか比較するとともに神渕川の水質を調べた。



学習内容③：カワゲラウォッチング

実際に学校の近くの神渕川に入って生物を採取し、どんなところにどんな生物がすんでいるのかを学んだ。



学習内容④：カワゲラウォッチング

採取した生物の同定や分類・集計を行い、生物に対する理解を深めた。



【学習結果と考察】

- ごくわずかな汚れであっても、水質に大きく影響することがパックテストを通じて児童にも伝わったと思う。
- 水質や川の上下流等によって、すむ生物が異なることなど、改めて生物の多様性を確認できた。
- 生物調査において様々な生物を採取するこができ、思った以上に種類が多かったことが確認できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 質問も多数寄せられ、積極的な姿勢が印象的だった。
- 身近な川であっても、まだまだ興味深い面があることを伝えられたと思う。
- 予習をした上で生物を捕まえるという体験は児童にとても新鮮だったようで、授業の有意義さを感じられた。

備　　考	６月８日（水）　建通新聞に総合学習の記事が掲載されました。 子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９９頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（1 名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	可児市立広見小学校	担当教員名	大澤先生	対象学年・人数	５年生　１４１名
実　施　日	６月１６日(火)		実施場所	広見小学校	
テ　ー　マ	「２０１０年７月１５日に起きた可児川の災害について」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　スライドによる説明

平成２２年度に洪水被害を受けた地区の小学校において防災学習を行い、当時の被害状況や、今後の災害への備え等について説明した。



学習内容②：スライドによる説明

当時の写真や新聞記事を多用し、理解しやすいよう配慮した。また、災害時の写真を見せることで、災害の怖さを認識してもらった。



学習内容③：児童による体験談の発表

平成２２年度の災害を経験した児童に当時の様子を発表してもらい、より身近な出来事として学んでもらった。



学習内容④：ハザードマップと講義の感想

今後の授業で取り組むハザードマップ作りについて、作成方法やポイントを説明した。また、今回の講義について、児童に感想を発表してもらった。



【学習結果と考察】

- 当時の写真や新聞記事を用いて説明し、「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」などの理解を深められた。
- 児童が自らの体験談を語ることで、自身の行動や意識を再確認してもらうことができた。
- 講義での説明・自身の体験の振り返り・級友からの発表という３つの要素により、効果的に災害や防災のことを学習できたように思う。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 児童も集中して聴講しており、一定の理解を図れたように思われる。
- 体験談や感想の発表では、自発的・積極的な発言が多く、関心の高さと当時の衝撃の大きさが伝わってきた。
- 今後、児童によるハザードマップ作りによって、地元の危険個所や、避難所等の把握につなげたい。

備　　考	７月３日（金）建通新聞に記事が掲載されました。 子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料１００頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	八百津町立潮見小学校	担当教員名	山岡先生	対象学年・人数	１－４年生　７名
実　施　日	７月２日(木)		実施場所	名場居川	
テ　ー　マ	「川をきれいに」 川にすむ生物や水質などを調べて、名場居川の姿を知ってもらう。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	八百津町 可茂県事務所	

学習内容①：　川について学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、また、身近な川にどのような危険が潜んでいるのかを説明し、水難事故の防止を促した。



学習内容②：カワゲラウォッチング

川に入って生物を採取し、どんなところにどんな生物がすんでいるのかを学んだ。



学習内容③：カワゲラウォッチング

採取した生物の同定や分類、集計を行い、生物に対する理解を深めた。



学習内容④：川の水質を調べる

ＣＯＤパックテストを行い、少量のジュースがいかに水質に影響するのか調べた他、名場居川の水質を調べた。



【学習結果と考察】

- ＣＯＤパックテストを通じ、ごくわずかな汚れであっても水質に大きく影響することが伝わったと思う。
- 川の水質や形状によってすむ生物が異なるなど、改めて生物の多様性について学習できた。
- 生物調査では、様々な生物が採取でき、その種類の多さについては、児童の想像以上だった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 生物採取の際に、仲間同士で協力し合う場面も見られるなど、様々な効果があったと思う。
- 自分たちの身近には豊かな川があることを初めて認識した児童が多く、その点でも有意義な時間であった。

備　　考	７月７日（火）　中日新聞に総合学習の記事が掲載されました。【巻末資料１０１頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	岐阜県立東濃高等学校	担当教員名	横井先生	対象学年・人数	２年生　５名
実　施　日	７月３日(金)		実施場所	東濃高校	
テ　ー　マ	「土砂災害から学ぶ、災害にそなえる」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　スライドによる説明

平成２３年度に土砂災害を受けた地区の学校において防災学習を行い、当時の状況の説明や、今後の災害への備え等について説明した。



学習内容②：スライドによる説明

プロジェクタを利用して、計５６枚のスライドにより説明した。当時の写真やイラストを多用し、生徒が理解しやすいように配慮した。



学習内容③：生徒による体験談の発表

生徒自身やその家族の体験談と、そこから学んだ点などを自発的に発表してもらい、より身近な出来事として共有することができた。



学習内容④：災害から生命・財産を守るために

災害後の復旧工事や、土砂災害を防ぐための砂防ダム・地すべり対策・護岸工・のり面工などの工事を紹介した。



【学習結果と考察】

・当時の写真や新聞記事を用いて説明し、「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」などの理解を深められた。
・生徒が自らの体験談を語ることで、自身の行動や意識を再確認してもらうことができた。
・講義での説明・自身の体験の振り返り・級友からの発表という３つの要素により、効果的に災害や防災のことを学習できたように思う。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・高校生ということもあり、土石流・がけ崩れ・地すべりの違いや災害復旧の方法等、詳しい説明ができ、多くのことを知ってもらえたと思われる。
・体験談等では自発的・積極的な発言が多く、関心の高さと当時の衝撃の大きさが伝わった。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	川辺町立川辺西小学校	担当教員名	後藤先生	対象学年・人数	５年生　４８名
実　施　日	７月９日(木)		実施場所	雄鳥川	
テ　ー　マ	「川をきれいに」 川にすむ生物や水質などを調べて、今の雄鳥川の姿を知ってもらう。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	川辺町産業環境課 県事務所環境課	

学習内容①：　川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、タモの使い方等を説明した。また、身近な川の危険性について説明し、水難事故の防止を促した。



学習内容②：カワゲラウォッチング

学校近くの雄鳥川に入って生物を採取し、どんなところにどのような生物がすんでいるのか学んだ。



学習内容③：カワゲラウォッチング

採取した生物の同定や分類、集計を行い、生物に対する理解を深めた。



学習内容④：結果のまとめ

雄鳥川のＣＯＤについて、クラス代表者が測定した数値をみんなで確認した。また、カワゲラウォッチングの感想等を児童に発表してもらった。



【学習結果と考察】

- 身近な川でも時には命を落とすような危険性があることを認識してもらったと思う。
- 生物調査では様々な生物を採取でき、種類の多さについては想像以上であった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 生物調査の際に仲間で協力し合う場面も見られるなど、様々な効果があったと思う。
- 自分たちの身近にある川でも、視点を変えたり、探し方を変えれば、さらに興味深いものになることを伝えられたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	可児市立広見小学校	担当教員名	大澤先生	対象学年・人数	５年生　１４１名
実　施　日	７月１４日(火)		実施場所	広見小学校	
テ　ー　マ	「防災講習とハザードマップの説明」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	可児市役所	

学習内容①：　児童による中間発表

これまで作成してきたハザードマップについて、ポイントや工夫した点をグループごとに発表した。



学習内容②：職員による作成指導

色使いや写真の配置など地図を見やすくする方法や、線路の書き方など地図としての基本的なことについて説明した。



学習内容③：ハザードマップの作成

ハザードマップの作成時には、職員も参加し、助言やアドバイスを行った。



学習内容④：ハザードマップの作成

グループごとにハザードマップの作成に取り組み、完成したマップは「小学生のぼうさい探検隊　マップコンクール」に応募予定である。



【学習結果と考察】

・児童が自発的・積極的に職員にアドバイスや助言を求める姿が見られ、よりレベルの高いハザードマップを作成できたと思う。
・ハザードマップの作成を通じ、地元の危険箇所や避難所について把握できたと思う。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・グループごとにハザードマップを作成する時間では、仲間同士で意見を出し合い、話し合う場面が見られるなど、様々な効果があったと思う。
・実際に作成することで、ハザードマップや危険箇所をより身近で具体的なものとして受け止めることができたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	白川町（どんぐり会）	担当教員名		対象学年・人数	児童　１０名
実　施　日	７月２５日(土)		実施場所	新田谷	
テ　ー　マ	「川をきれいに」 川にすむ生物や水質などを調べて、今の新田谷の姿を知ってもらう		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	美濃白川どんぐり会	

学習内容①：カワゲラウォッチング

川に入って生物を採取し、どんなところにどんな生物がすんでいるのかを学んだ。



学習内容②：カワゲラウォッチング

採取した生物の同定や分類、集計を行った。



学習内容③：カワゲラウォッチング

採取した生物の名称や特徴を調べ、川の水質を判断した。



学習内容④：新田谷の工事について学ぶ

可茂土木職員による新田谷の護岸工事にについて、工事概要、工事の成果について説明が行われた。



【学習結果と考察】

・新田谷にすむ生物や水質を知ることができ、地元の谷に対する理解を深めた。
・生物調査において様々な生物を採取することができ、種類も多いことが確認できた。
・護岸工事で河床に淵を作り、岩を置くことによって、川が安全に流れるだけでなく、魚にとってもすみやすい環境になったことを学習できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・児童たちの積極的に生物を採取する姿が見られ、楽しくカワゲラウォッチングができたと思われる。
・保護者同伴で来ている児童もおり、親子の交流が深まり、有意義な時間であったと思われる。
・土木工事において、どのように河川環境に配慮しているのかを理解してもらえたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	美濃加茂市立山手小学校	担当教員名	今泉先生	対象学年・人数	５年生　１０７名
実　施　日	２月１８日(木)		実施場所	山手小学校	
テ　ー　マ	「昭和５８年９月２８日の台風１０号による豪雨災害について」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：豪雨災害について学ぶ

昭和５８年に起きた豪雨災害について、当時の被災状況や今後の災害の備えについて学んだ。



学習内容②：豪雨災害について学ぶ

プロジェクタを利用し、計５１枚のスライドにより講義した。写真や図を多用し、生徒が理解しやすいように配慮した。



学習内容③：豪雨災害について学ぶ

鬼怒川の氾濫の映像を見せることで、災害の怖さを認識してもらった。



学習内容④：豪雨災害の危険性について

豪雨災害について知っていることを聞き、生徒の豪雨災害に対する認知度を確認した。



【学習結果と考察】

- 当時の写真や新聞記事を用いて説明し、「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」などの理解を深められた。
- 鬼怒川の洪水の映像は、衝撃的であったため、災害の怖さや、すぐに非難することの大切さを理解してもらうことができた。
- 災害当時、小学５年生で、被災した市役所職員の伝言を聞き、災害の悲しい体験を繰り返してほしくないという思いを受け止めることができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 児童も集中して聴講しており、一定の浸透を図れたように思われる。
- 山手小学校は比較的災害の危険が少ない土地に立地しているため、児童の災害の経験がなかった。そのため、今回の災害学習は危機感を持ってもらうのに効果的だった。

備　　考	２月２０日（土）中日新聞（中濃版）、２月２１日（日）岐阜新聞（中濃版）に記事が掲載されました。【巻末資料１０２頁掲載】　　岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	土岐市立 濃南小学校	担当教員名	中根先生	対象学年・人数	４年生　２２名
実　施　日	5 月 19 日(火)		実施場所		肥田川（学校前）
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.5
- 透視度　61.5
- ＣＯＤ　10
- 採取した水生生物　13 種類
  カワムツ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、ドジョウ、カワニナ、コオニヤンマ、サワガニ、オニヤンマ、サナエトンボ、コシボリヤンマ、ヒル、ヒゲナガ、カワトビゲラ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 一人一人に時間をかけて生物の捕まえ方等を教えることができた。
- 河川にある構造物が私たちの命や財産を守る役割を果たしているということを、写真を用いながら説明した。子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。
- 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学習することができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　共栄小学校	担当教員名	三宅先生	対象学年・人数	３年生　６９名
実　施　日	5 月 21 日(木)		実施場所	高田川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

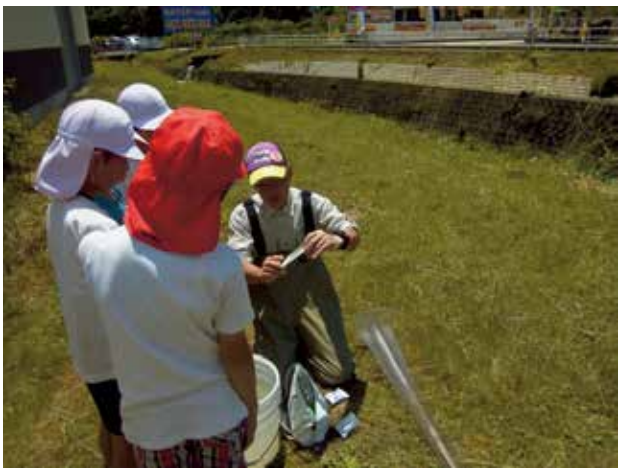
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.0　・透視度　18
- ＣＯＤ　10
- 採取した水生生物　13 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、ヒメダカ、ミナミヌマエビ、スジエビ、サワガニ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、ギンヤンマ、コヤマトンボ、ヒル、マメゲンゴロウ、ヘビトンボ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 流れが穏やかであるために、広い範囲で多くの生物の採取ができた。
- 草木・石のあるところ、陰になっているところなど生物の生息についても教えることができた。
- 外来生物・川の危険性について関心を持って聞いてもらえた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　共栄小学校	担当教員名	今井先生	対象学年・人数	４年生　８２名
実　施　日	5 月 26 日(火)		実施場所	高田川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.0
- 透視度　35
- ＣＯＤ　10
- 採取した水生生物　16 種類
  カワムツ、カワヨシノボリ、コイ、メダカ、シマアメンボ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スジエビ、ハグロトンボ、コオニヤンマ、コタマトンボ、ガガンボ、サカマキガイ、ヘビトンボ、サワガニ、ヒル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 一人一人に時間をかけて生物の捕まえ方等を教えることができた。
  昨年度に実施した総合学習で学んだことを周りに教えるということがみられた。
- 川の危険性だけでなく、川をきれいに保つといったことなどを教えた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　池田小学校	担当教員名	井田先生	対象学年・人数	４年生　４７名
実　施　日	5 月 27 日(火)		実施場所		大原川（宝親水公園）
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.0　・透視度　18
- ＣＯＤ　10
- 採取した水生生物　15 種類
  カワムツ、オイカワ、ムマムツ、カワヨシノボリ、カマツカ、アカザ、ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ、ウシガエル、カワニナ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学習することができた。
- 写真を用いて、河川にある構造物が命や財産を守る役割を果たしているということを説明した。
- 河川内に深いところが多数あるために、子供たちが近づかないように努めた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　昭和小学校	担当教員名	戸倉先生	対象学年・人数	３年生　５７名
実　施　日	5 月 28 日(火)		実施場所	笠原川（土岐川合流点）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.5　・透視度　36
- ＣＯＤ　7
- 採取した水生生物　15 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、フナ、カマツカ、メダカ、アカザ、アブラハヤ、ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、ヒル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 河川工事によって生物の生息環境を損なう可能性はあるが、人の命や財産を守るうえで必要不可欠なものであることを写真で説明した。
- 魚の生態や外来生物、川の危険性についての質問が多く、多くのことを理解してもらえたように感じた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　根本小学校	担当教員名	浅見先生	対象学年・人数	４年生　９７名
実　施　日	６月２日(火)		実施場所	大原川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.5　　・透視度　36
- ＣＯＤ　13
- 採取した水生生物　14 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、メダカ、トノサマガエル、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、カワニナ、ハグロトンボ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、コシボソヤンマ、ミズムシ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 身近な河川から、生態や水質を判断できることが理解してもらうことができた。自然環境の大切さを実感してもらえたと思う。
- 川の危険性について、増水した場合や川で遊ぶ時の注意点、避難場所の説明を行った。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　滝呂小学校	担当教員名	藤井先生	対象学年・人数	５年生　１１２名
実　施　日	６月５日(金)		実施場所		笠原川
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.0　・透視度　74.5
- ＣＯＤ　5
- 採取した水生生物　15 種類
  カワムツ、オイカワ、モツゴ、ドジョウ、サワガニ、ヒゲナガカワトビケラ、ミナミヌマエビ、コヤマトンボ、コオニヤンマ、オナガサナエ、ハグロトンボ、アメリカザリガニ、ヘビトンボ、カワヨシノボリ、アブラハヤ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子供たちに魚の捕まえ方をアドバイスでき、嬉々として総合学習に取り組んでおり、川に対して興味や好奇心をもってもらえたと思う。
- 流速が早いところや水深が深いところがあり、足がすくわれて転倒しないように気を付けた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	土岐市立　肥田小学校	担当教員名	西尾先生	対象学年・人数	２年生　６３名
実　施　日	6 月 10 日(水)		実施場所	肥田川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.0　・透視度　20
- ＣＯＤ　10
- 採取した水生生物　17 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、アブラハヤ、モツゴ、タモロコ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スジエビ、コオニヤンマ、ヒラタドロムシ、ハグロトンボ、カワトンボ、ウシガエル、イシガメ、コオイムシ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川で生物を採取した経験がある子供たちが少なく、川の生態系、水質等に関して非常に興味を持って取り組んでいた。
- 河川にある構造物が私たちの命や財産を守る役割を果たしているということを、写真を用いながら説明した。子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	瑞浪市立　釜戸小学校	担当教員名	山崎先生	対象学年・人数	５年生　２５名
実　施　日	6 月 18 日(木)		実施場所	土岐川（駅前大橋）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.0　　・透視度　38.5
- ＣＯＤ　10
- 採取した水生生物　19 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、ドジョウ、シマドジョウ、アカザ、メダカ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、カワゲラ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、カワニナ、ヒラタドロムシ、ヒゲナガカワトビゲラ、トノサマガエル、ウシガエル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 一人一人に時間をかけて生物の捕まえ方等を教えることができた。
- 普段の川と雨が降った後の川の違いや危険性について説明した。
- 土岐川の上流で調査を行ったが、下流との違いについて説明した。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　共栄小学校	担当教員名	三宅先生	対象学年・人数	３年生　６８名
実　施　日	6 月 23 日(火)		実施場所	高田川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.0　・透視度　23.5
- ＣＯＤ　13
- 採取した水生生物　16 種類
  カワムツ、カワヨシノボリ、コイ、メダカ、シマアメンボ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スジエビ、ハグロトンボ、コオニヤンマ、コタマトンボ、ガガンボ、サカマキガイ、ヘビトンボ、サワガニ、ヒル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 一人一人に時間をかけて生物の捕まえ方等を教えることができた。
- 河川にある構造物が私たちの命や財産を守る役割を果たしているということを、写真を用いながら説明した。子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。
- 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学習することができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　共栄小学校	担当教員名	三宅先生	対象学年・人数	４年生　８２名
実　施　日	6 月 24 日(水)		実施場所	高田川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.5
- 透視度　20
- ＣＯＤ　13
- 採取した水生生物　16 種類
  カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、メダカ、コイ、アメリカザリガニ、サワガニ、ヘビトンボ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ、カワニナ、ウシガエル、ヒル、ガガンボ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子供たちは慣れた様子で魚の採取を行っていたが、子供たちを見落とさないように注意した。
- 河川の構造物や生態についても以前よりも興味を増して話を聞いてもらえた。
- 前回の授業を通して質問する子供たちもいて、非常に有意義な時間になったと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　南姫小学校	担当教員名	福當先生	対象学年・人数	４年生　３５名
実　施　日	７月７日(火)		実施場所	姫川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.5　　・透視度　66
- ＣＯＤ　10
-
- 採取した水生生物　15 種類
  オイカワカワムツ、ヌマムシ、カワヨシノボリ、タモロコ、カマツカ、ドジョウ、コイ、ナマズ、スジエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、サナエトンボ、ウシガエル、ツチガエル、ミナミヌマエビ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 小さい川ながら多くの種類の生物がいて夢中で捕まえており、楽しみながら学習することができた。
- 子供たちによる川の水質を発表する場では元気に発表し、聞いている側も興味を持っていた。
- 外来生物についての説明を行い、積極的に質問をしているところが印象的だった。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　市之倉小学校	担当教員名	今井先生	対象学年・人数	４年生　４９名
実　施　日	7 月 10 日(金)		実施場所	市之倉川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.5　　・透視度　39.5
- ＣＯＤ　7
- 採取した水生生物　11 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ウシガエル、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ、ガガンボ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 河川にある構造物が私たちの命や財産を守る役割を果たしているということを、写真を用いながら説明した。子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。
- 地域住民の方の見守りがあったために、幅広く生物採取が行えた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　滝呂小学校	担当教員名	熊崎先生	対象学年・人数	２年生　１１５名
実　施　日	8 月 28 日(金)		実施場所	笠原川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.0
- 透視度　74.5
- ＣＯＤ　5
- 採取した水生生物　15 種類
  カワムツ、オイカワ、モツゴ、ドジョウ、サワガニ、ヒゲナガカワトビケラ、ミナミヌマエビ、コヤマトンボ、コオニヤンマ、オナガサナエ、ハグロトンボ、アメリカザリガニ、ヘビトンボ、カワヨシノボリ、アブラハヤ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 生物採取の際には、協力し合う場面も見られ、非常に楽しく授業ができたと思う。
- 川の生態や水質、危険性について興味を持って話を聞いていた。当日は気温も低く、風邪をひかないように着替えを用意する等などの配慮を行った。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	土岐市立　濃南小学校	担当教員名	西尾先生	対象学年・人数	４年生　２２名
実　施　日	９月４日(金)		実施場所	肥田川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.0　・透視度　20
- ＣＯＤ　10
- 採取した水生生物　17 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、アブラハヤ、モツゴ、タモロコ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スジエビ、コオニヤンマ、ヒラタドロムシ、ハグロトンボ、カワトンボ、ウシガエル、イシガメ、コオイムシ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 雨が降った後だったので、深いところ流れの速いところに行かないように注意した。
- 河川の構造物の果たしている役割を話したうえで、人の命や財産を守っているということを伝えた。ゴミを捨てずに川をきれいに保つことの重要性を話した。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　根本小学校	担当教員名	浅見先生	対象学年・人数	４年生　９６名
実　施　日	9 月 15 日(火)		実施場所	大原川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.5　　・透視度　36
- ＣＯＤ　13
- 採取した水生生物　13 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、メダカ、トノサマガエル、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、カワニナ、ハグロトンボ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、コシボソヤンマ、ミズムシ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川の生態系や外来種、護岸の役割や川の危険性の説明を行うにあたり、子供たちにわかる言葉を選んで説明することに苦労した。
- 意欲的に水生生物を捕まえる姿を見て取れ、川に対する興味を持ってもらえたように思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　精華小学校	担当教員名	則武先生	対象学年・人数	５年生　１３４名
実　施　日	9 月 29 日(火)		実施場所	大原川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.5　　・透視度　36
- ＣＯＤ　13
- 採取した水生生物　13 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、メダカ、トノサマガエル、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、カワニナ、ハグロトンボ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、コシボソヤンマ、ミズムシ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子供たちに魚の捕まえ方をアドバイスでき、嬉々として総合学習に取り組んでおり、川に対して興味や好奇心をもってもらえたと思う。
- 流速が早いところや水深が深いところがあり、足がすくわれて転倒しないように気を付けた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	名古屋市立　稲西小学校	担当教員名	五十嵐先生	対象学年・人数	３年生　４９名
実　施　日	9 月 30 日(水)		実施場所	笠原川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.5　　・透視度　36
- ＣＯＤ　13
- 採取した水生生物　13 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、メダカ、トノサマガエル、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、カワニナ、ハグロトンボ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、コシボソヤンマ、ミズムシ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 普段は大きな川しか近くに無く、実際の水辺で学習する機会が少ない子供たちにとって、非常に有意義な時間になったと思う。
- 川の水質や危険性、生物の説明を聞いている姿は真剣で、質問も多く出た。この体験を通して、川に対して興味をもってもらえたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　共栄小学校	担当教員名	今井先生	対象学年・人数	４年生　８２名
実　施　日	10 月 6 日(火)		実施場所	高田川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.0　　・透視度　23.5
- ＣＯＤ　13
- 採取した水生生物　16 種類
  カワムツ、カワヨシノボリ、コイ、メダカ、シマアメンボ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スジエビ、ハグロトンボ、コオニヤンマ、コタマトンボ、ガガンボ、サカマキガイ、ヘビトンボ、サワガニ、ヒル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 回数を重ねるごとに魚の捕まえ方が上手くなっているのがわかり、より多くの種類の生物を採取することができた。
- 身近に親しんでいる川であるため、このような体験を通して、子供たちに更に川を大切にしたいという意識を持ってもらうことで、防災面や環境面でも良い学習会であったと感じられた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立　池田小学校	担当教員名	井田先生	対象学年・人数	４年生　４６名
実　施　日	10 月 6 日(火)		実施場所		大原川（宝親水公園）
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.5　　・透視度　81
- ＣＯＤ　5
- 採取した水生生物　14 種類
  カワムツ、アブラハヤ、カワヨシノボリ、ドジョウ、アカザ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、カワニナ、マシジミ、サワガニ、ギンヤンマ、カワトンボ、ウシガエル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 身近な大原川と触れ合うことで、愛着がわき、これからも大事にしていきたいという意識を持ってもらえるように説明を行った。
- 場所によっては水深が深いところもあり、怪我をしないように安全確保を行った。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：　河川砂防係	氏名：大矢　諭志	電話番号（内線）	0572-23-1111（320）

様式①　　（　恵那土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	恵那市立岩邑小学校	担当教員名	加藤先生	対象学年・人数	４年生　５７名
実　施　日	平成 27 年 6 月 12 日（金）, 6 月 25 日（木）		実施場所	岩村川（　岩村橋上流　）	
テ　ー　マ	「ダム、災害及び河川環境を学ぶ」 ダムの役割及び現在の河川環境を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	恵那市上下水道課	

学習内容①：岩村ダムについての役割を学ぶ

岩村ダムについて説明し、実際にダムの堤体や監査廊を見学しダムの役割について学んだ。



学習内容②：水道水の水源を学ぶ

水道水がどこからきているのか説明し、取水位置の見学をした。



学習内容③：岩村川の生態を学ぶ

実際に川に入って、岩村川の水生生物をグループに分かれて採取した。様々な生物の名称を学ぶとともに、どんな生物がどのくらい生息しているかを学び、身近な岩村川の生態系について学んだ。



学習内容④：岩村川の生物から水質を知る

採取した水生生物の種類分けを行い、様々な生物の名称を学ぶとともに、指標生物数を集計し、岩村川の水質について発表してもらった。



【学習結果と考察】

- 生息を確認できたのは、カワゲラ、ヘビトンボ、コガラシトビゲラ、コオニヤンマ、カワニナ、ミズカマキリなど
- 水生生物を採取し、分類した結果、少しきたない水に生息するとされる生物が多く確認された。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 普段入ることの無いダムの監査廊や管理棟に入り、岩村ダムの大きさや役割を体感してもらえたと思う。
- 「ダムの水はどこへいくの？」といった、子ども達からの質問もあり、ダムについての興味を持ってもらえたと思う。
- 岩村川では子ども達は積極的に川の中に入り、楽しみながら学んでいた。

備　考	岐阜県自然工法管理士（４名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：市川　裕規	電話番号（内線）	0573-26-1111(347)

様式①　　（　恵那土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	恵那市立大井小学校	担当教員名	今井先生	対象学年・人数	４年生　５３名
実　施　日	平成 27 年 6 月 22 日（月）, 6 月 23 日（火）		実施場所	横町川（　大井小学校前　）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチングにより横町川の水質について学ぶ 川の安全な楽しみ方を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	なし	

学習内容①：　横町川とのふれあい方を学ぶ

水生生物はどんな所にすんでいるか、どのように捕まえるのか、どのような場所が危険なのかを学んだ。



学習内容②：　カワゲラウォッチング

横町川に実際に入り、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生き物が生息しているのかを学ぶことができた。



学習内容③：横町川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、指標生物を集計し、発表することで、身近な横町川にどんな生き物がどれくらいいるのかを知ることができた。



学習内容④：川の安全な楽しみ方を学ぶ

川での安全で楽しむためにはどんなことに気をつければよいのかを学んだ。



【学習結果と考察】

・生息を確認できたのは、ヒラタカゲロウ、ヘビトンボ、サワガニ、コオニヤンマ、スジエビ、ハグロトンボなど。

きれいな水、少しきたない水の指標生物が多く確認されたことから、横町川は比較的きれいな水質であると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 男子、女子問わず川の中に入って積極的に生き物を採取する姿がみられた。
- 川とのふれあい方を学び、身の周りの環境に対する興味を持ってもらえたと思う。

備　　考	子ども達から感謝の手紙をいただきました。【巻末資料１０３頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（４名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：市川　裕規	電話番号（内線）	0573-26-1111(347)

様式①　　（　恵那土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	中津川市立加子母小学校	担当教員名	小南先生	対象学年・人数	４年生　３４名
実　施　日	平成 27 年 6 月 29 日(月)		実施場所	白川（　道の駅加子母前　）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチングにより白川の水質について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	中津川市	

学習内容①：　白川とのふれあい方を学ぶ

水生生物はどんな所にすんでいるか、どのように捕まえるのか、どのような場所が危険なのかを学んだ。



学習内容②：　カワゲラウォッチング

白川に実際に入り、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生き物が生息しているのかを学ぶことができた。



学習内容③：白川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、指標生物を集計し、発表することで、身近な白川にどんな生き物がどれくらいいるのかを知ることができた。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・生息を確認できたのは、カワゲラ、ニンギョウトビゲラ、ヒラタカゲロウなど。

白川では、きれいな水の指標生物が多く確認された。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 男子、女子問わず川の中に入って積極的に生き物を採取する姿がみられた。
- 川とのふれあい方を学び、身の周りの環境に対する興味を持ってもらえたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（４名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：市川　裕規	電話番号（内線）	0573-26-1111(347)

様式①　　（　恵那土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	中津川市立付知北小学校	担当教員名	三嶋先生	対象学年・人数	４年生　３１名
実　施　日	平成 27 年 6 月 30 日(火)		実施場所	付知川（付知総合グランド河川敷）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチングにより付知川の水質について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	中津川市	

学習内容①：　付知川とのふれあい方を学ぶ

水生生物はどんな所にすんでいるか、どのように捕まえるのか、どのような場所が危険なのかを学んだ。



学習内容②：　カワゲラウォッチング

付知川に実際に入り、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生き物が生息しているのかを学ぶことができた。



学習内容③：付知川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、指標生物を集計し、発表することで、身近な付知川にどんな生き物がどれくらいいるのかを知ることができた。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・生息を確認できたのは、カワゲラ、ニンギョウトビゲラ、ヒラタカゲロウ、カワニナ、ヨシノボリなど。

付知川では、少しきたない水の指標生物が多く確認された。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 男子、女子問わず川の中に入って積極的に生き物を採取する姿がみられた。
- 川とのふれあい方を学び、身の周りの環境に対する興味を持ってもらえたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（４名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：市川　裕規	電話番号（内線）	0573-26-1111(347)

様式①　　（　恵那土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	中津川市立川上小学校	担当教員名	林先生	対象学年・人数	４・５年生　１６名
実　施　日	平成 27 年 7 月 7 日(火)		実施場所	川上川（川上小学校前）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチングにより川上川の水質について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	中津川市	

学習内容①：　川上川とのふれあい方を学ぶ

水生生物はどんな所にすんでいるか、どのように捕まえるのか、どのような場所が危険なのかを学んだ。



学習内容②：　カワゲラウォッチング

川上川に実際に入り、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生き物が生息しているのかを学ぶことができた。



学習内容③：川上川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、指標生物を集計し、発表することで、身近な川上川にどんな生き物がどれくらいいるのかを知ることができた。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・生息を確認できたのは、カワゲラ、ヒラタカゲロウ、ナガレトビゲラ、ブユ、コガタシマトビゲラ、カワニナなど。

川上川では、きれいな水の指標生物が多く確認された。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 男子、女子問わず川の中に入って積極的に生き物を採取する姿がみられた。
- 川とのふれあい方を学び、身の周りの環境に対する興味を持ってもらえたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（４名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：市川　裕規	電話番号（内線）	0573-26-1111(347)

様式①　　（　恵那土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	中津川市立蛭川中学校	担当教員名	伊藤先生	対象学年・人数	３年生　３６名
実　施　日	平成 27 年 7 月 13 日(月)		実施場所	和田川（棚田橋周辺）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチングにより和田川の水質について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	中津川市	

学習内容①：　和田川とのふれあい方を学ぶ

水生生物はどんな所にすんでいるか、どのように捕まえるのか、どのような場所が危険なのかを学んだ。



学習内容②：　カワゲラウォッチング

和田川に実際に入り、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生き物が生息しているのかを学ぶことができた。



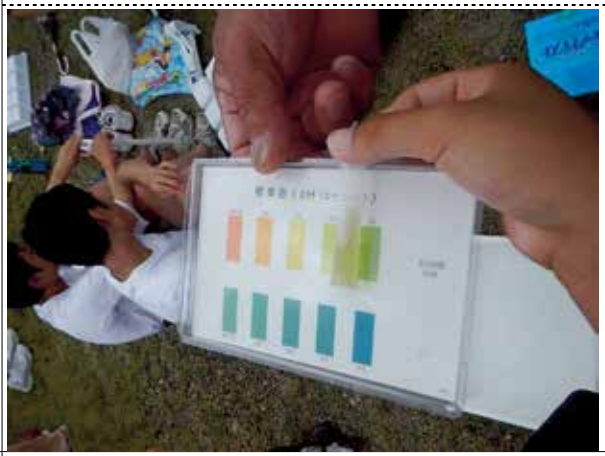
学習内容③：和田川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、指標生物を集計し、発表することで、身近な和田川にどんな生き物がどれくらいいるのかを知ることができた。



学習内容④：パックテストによる水質判定

和田川の水を採取してパックテストを実施し、ＣＯＤ値、ｐＨを測定した。



【学習結果と考察】

・生息を確認できたのは、ナガレトビゲラ、カワニナ、ヒル、サワガニ、コオニヤンマなど。

和田川では、きれいな水の指標生物が多く確認された。
また、 パックテストにより、pH=7、COD=6mg/L を示した。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 男子、女子問わず川の中に入って積極的に生き物を採取する姿がみられた。
- 川とのふれあい方を学び、身の周りの環境に対する興味を持ってもらえたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（４名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：市川　裕規	電話番号（内線）	0573-26-1111(347)

様式①　　（下呂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	下呂市立馬瀬小学校	担当教員名	小林先生	対象学年・人数	3,4 年生 25 名
実　施　日	６月　１５日(月)		実施場所	馬瀬川(不動橋)	
テ　ー　マ	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	下呂市役所環境課、飛騨県事務所環境課	

学習内容①：　川とのふれあい方を学ぶ

馬瀬川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。



学習内容②：馬瀬川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。



学習内容③：馬瀬川の水質を知る

馬瀬川で採取した水生生物の種類や数を基に馬瀬川の水質がどうだったかについて取りまとめ、結果発表した。



学習内容④：川の危険性について

降雨による急な増水や流れの変化等川に潜む危険性等について学んだ。



【学習結果と考察】

- 馬瀬川はきれいな水に棲むヒラタカゲロウ類やヘビトンボが採取できた。
- 水生生物の生息状況、川底の見え方や川底の状態、におい等により、とてもきれいな状態が保たれていると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川の中の子供たちの様子より、自然と触れ合うことの楽しさが伝わったと思う。
- 身近な川への関心が高まり、環境保全への意識啓発になればよいと思う。

備　　考	岐阜県下呂市役所環境課（２人参加）、飛騨県事務所環境課（２人参加） 岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：荒引　圭俊	電話番号（内線）	0576-52-3111(323)

様式①　　（下呂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	下呂市立小坂小学校	担当教員名	新井先生	対象学年・人数	4年生 31名
実　施　日	７月１５日(水)		実施場所	小黒川(中河原キャンプ場)	
テ　ー　マ	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	下呂市役所環境課	

学習内容①：　川とのふれあい方を学ぶ

小黒川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。



学習内容②：小黒川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。



学習内容③：小黒川の水質を知る

小黒川で採取した水生生物の種類や数を基に小黒川の水質がどうだったかについて取りまとめ、結果発表した。



学習内容④：川の危険性について

降雨による急な増水や流れの変化等川に潜む危険性等について学んだ。



【学習結果と考察】

- 小黒川はきれいな水に棲むヒラタカゲロウ類やヘビトンボが採取できた。
- 水生生物の生息状況、川底の見え方や川底の状態、におい等により、とてもきれいな状態が保たれていると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川の中の子供たちの様子より、自然と触れ合うことの楽しさが伝わったと思う。
- 身近な川への関心が高まり、環境保全への意識啓発になればよいと思う。

備　　考	岐阜県下呂市役所環境課（２人参加） 岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：荒引　圭俊	電話番号（内線）	0573-26-1111(347)

様式①　　（下呂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	下呂市立萩原小学校	担当教員名	大屋先生	対象学年・人数	5年生 77名
実　施　日	７月１４日(火)		実施場所	桜洞川(桜橋)	
テ　ー　マ	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	下呂市役所環境課	

学習内容①：　川とのふれあい方を学ぶ

桜谷に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。



学習内容②：桜谷の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。



学習内容③：桜谷の水質を知る

桜谷で採取した水生生物の種類や数を基に桜谷の水質がどうだったかについて取りまとめ、結果発表した。



学習内容④：川の危険性について

降雨による急な増水や流れの変化等川に潜む危険性等について学んだ。



【学習結果と考察】

- 桜谷はきれいな水に棲むヒラタカゲロウ類やヘビトンボが採取できた。
- 水生生物の生息状況、川底の見え方や川底の状態、におい等により、とてもきれいな状態が保たれていると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川の中の子供たちの様子より、自然と触れ合うことの楽しさが伝わったと思う。
- 身近な川への関心が高まり、環境保全への意識啓発になればよいと思う。

備　　考	岐阜県下呂市役所環境課（２人参加） 岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：荒引　圭俊	電話番号（内線）	0573-26-1111(347)

様式①　　（下呂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	下呂市立上原小学校	担当教員名	尾形先生	対象学年・人数	1,3,4 年生 26 名
実　施　日	７月１４日(火)		実施場所	輪川(橋戸橋)	
テ　ー　マ	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	下呂市役所環境課	

学習内容①：　川とのふれあい方を学ぶ

輪川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。



学習内容②：輪川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な輪川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。



学習内容③：輪川の水質を知る

輪川で採取した水生生物の種類と数や、輪川の水質がどうだったかについて取りまとめ、結果発表した。



学習内容④：川の危険性について

降雨による急な増水や流れの変化等川に潜む危険性等について学んだ。



【学習結果と考察】

- 輪川はきれいな水に棲むヒラタカゲロウ類やヘビトンボが採取できた。
- 水生生物の生息状況、川底の見え方や川底の状態、におい等により、上原小学校付近の輪川はとてもきれいな状態が保たれていると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 自然と触れ合うことにより、子供たちは楽しそうであった。
- 身近な川のきれいさを知り、環境への関心が高まればよいと思う。

備　　考	岐阜県下呂市役所環境課（２人参加） 岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：高木　隆盛	電話番号（内線）	0573-26-1111(347)

様式①　　（　高山土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	高山市立宮小学校	担当教員名	大門先生	対象学年・人数	５年生　２６名
実　施　日	５月２８日(木)		実施場所	宮川（宮小学校付近）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング 川と山の災害について		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所（環境課）	

学習内容①：カワゲラウォッチング（事前授業）

川にはどんな水生生物が棲んでいるのか、どのように採取するのか学んだ。



学習内容②：土砂災害と河川災害について

実際の土石流の動画により土砂災害の恐ろしさと、砂防えん堤によりまちが守られていることを学んだ。



学習内容③：カワゲラウォッチング

宮川の水質について指標となる水生生物を採取し、どのような生物が棲んでいるのか学んだ。



学習内容④：結果のまとめ

採取した生物の名前を確認・集計し宮川の清濁状況について学んだ。



【学習結果と考察】

- 採取された生物を通じて宮川がきれいな水質であること確認された。
- 前日から晴れが続いていたため、昨年度より指標生物が多く生息しており、豊かな川であることが分かったと思う。
- 土石流の動画を見ることで、急に水位が上がり大きな岩が流れていく様子をみて山で起きる災害の恐ろしさを学習した。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】。

- 川の楽しさを知る一方で、土石流の動画で衝撃を受けた子供が多くいた。大雨が降る中で山に近づくことがどれだけ危険なのかを周知できたように思う。

備　　考	

記入者	所属：河川砂防係	氏名：高橋　健	電話番号（内線）	0577-33-1111(382)

様式①　　（　高山土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	高山市立南小学校	担当教員名	三島先生	対象学年・人数	４年生　６６名
実　施　日	６月１１日(木)		実施場所	苔川（岡本橋付近）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング 山と川の安全利用講習		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所（環境課）	

学習内容①：カワゲラウォッチング（事前授業）

身近な存在である苔川に入り、どんな水生昆虫が生息しているのかを調査した。



学習内容②：カワゲラウォッチング

身近な存在である苔川に入り、どんな水生昆虫が生息しているのかを調査した。



学習内容③：結果のまとめ

採取した生物の名前を確認・集計し苔川の清濁状況について学んだ。



学習内容④：川の怖さについて

大雨が降った際に河川がどう変化するのかを知り、増水時の川の怖さを知った。



【学習結果と考察】

- 比較的汚い川にいる生物が確認される一方で、綺麗な川にでも生息する生物が見られ、多種多様な生態系を創出している。
- 普段は何気なく渡る苔川でどんな災害があったかを知ることができた。
- 川における危険個所を知り、川で遊ぶ際の注意点を学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 昨年の災害で苔川付近でも大きな災害があったことを話すと、子供たちは大きく驚いていた。昔の災害を知らない世代に「実は危ないところに住んでいる」ことを認識してもらえたと思う。

備　　考	６月１２日（金）の中日新聞に記事が掲載されました。【巻末資料１０４頁掲載】

記入者	所属：河川砂防係	氏名：高橋　健	電話番号（内線）	0577-33-1111(382)

様式①　　（　高山土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	高山市立北小学校	担当教員名	山下先生	対象学年・人数	４年生　１０７名
実　施　日	６月１７日（水）		実施場所	宮川（万人橋付近）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング 川の安全利用講習		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所（環境課）	

学習内容①：カワゲラウォッチング

宮川に（高山市内下流部）棲む生物を採取し、名前を調べ、川には多種多様な生物が棲んでいることを確認した。



学習内容②：指標生物から川の清濁を知る

採取した水生生物から宮川の下流域の水質を調べた。



学習内容③：パックテストによる川の清濁状況

パックテストにより川の水がきれいなことを確かめ、ゴミを捨てることによる川への影響を考えた。



学習内容④：川の安全利用講習

昨年に起きた豪雨災害の事例を知り、水難事故に合わないための知識を得た。



【学習結果と考察】

- 採取された生物やパックテストを通じて宮川の下流域についての水質を確認した。
- 洪水時の川の危険な部分を知り、川で遊ぶ時の注意点を学習することができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- カワゲラウォッチングを通して川で遊ぶことの楽しさを知る一方で、川の危険な部分の学習もした。川に対する興味を失わないでほしい。
- ヒルが多く発見され、綺麗だと思っていた宮川が意外と汚れていること発見した。今後、生活していくうえで、川のことも頭において生活してもらえると思う。

備　　考	

記入者	所属：河川砂防係	氏名：高橋　健	電話番号（内線）	0577-33-1111(382)

様式①　　（　高山土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	高山市立東小学校	担当教員名	志津馬先生	対象学年・人数	５年生　９１名
実　施　日	７月１４日（火）		実施場所	宮川（万人橋付近）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング 川の安全利用講習		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所（環境課）	

学習内容①：カワゲラウォッチング（事前学習）

川に棲む生物についての名前や生物の採集方法を確認した。



学習内容②：カワゲラウォッチング

宮川（高山市内下流部）に棲む生物を採取し、名前を調べ、川に多種多様な生物が棲んでいることを確認した。



学習内容③：指標生物から川の清濁を知る

採取した水生生物から宮川の下流域の水質を調べた。結果として、少し汚いことを確認した。



学習内容④：川の安全利用講習

昨年発生した災害の事例を知り、川の危険な箇所等の知識を得た。



【学習結果と考察】

- 採取された生物を通じて宮川の下流域については生活排水の影響等から少し汚い水に分類されることを確認した。
- 流れの速い箇所と緩やかな箇所を比較してどこに水生昆虫が棲むのかを考えた。
- 昨年発生した災害の事例を通して川の危険な部分の学習することができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- カワゲラウォッチングを通して川で遊ぶことの楽しさを知る一方で、川の危険な部分の学習もした。
- 川を通じて、自然と共生していくことの大切さを学べた。

備　　考	

記入者	所属：河川砂防係	氏名：高橋　健	電話番号（内線）	0577-33-1111(382)

様式①　　（　高山土木事務所　河川砂防課）

支援団体名	高山市役所	担当者名	ー	対象学年・人数	全学年　１１０名
実　施　日	７月２２日(水)		実施場所	宮川・苔川	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング 山と川の安全利用講習		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所（環境課） 公衆衛生センター　高山市役所	

学習内容①：カワラゲウォッチング

宮川・苔川の上流下流等に分かれ、各流域における生物採取を行った。



学習内容②：水生生物の調査

採取した水生生物を持ち帰り、流域ごとに採取された生物の名前を確認し、集計作業を行った。



学習内容③：結果発表

流域ごとに集計したものより、水質を調べた。どんな生物がきれいな水質に棲んでいるのか学習した。



学習内容④：災害から身を守るために

昨年の災害事例より、大雨後の河川の恐ろしさを学んだ。身近に起こりうるものであることを知った。



【学習結果と考察】

- 流域ごとの調査をおこなうことでどんな場所にどんな生き物が生息するのか学んだ。
- 流域ごとの水質を確認することで、人間の生活が付近の環境に負荷をかけていることがわかった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川遊びを楽しいと認識している子供達が多く見られた。天気に気を付けて川に積極的に触れてもらえればと思う。
- 同時に川の恐ろしさも知ってもらって共生していくことを感じてほしい。

備　　考	

記入者	所属：河川砂防係	氏名：高橋　健	電話番号（内線）	0577-33-1111(382)

様式①　　（　高山土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	高山市立松倉中学校	担当教員名	河渡先生	対象学年・人数	１～３年生１２名
実　施　日	８月４日(木)		実施場所	苔川（上岡本橋付近）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング 山と川の安全利用講習		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所（環境課）	

学習内容①：カワゲラウォッチング

身近な存在である苔川に入り、どんな水生昆虫が生息しているのかを調査した。



学習内容②：調査結果

採取した生物の名前を確認・集計し苔川の清濁状況について学んだ。



学習内容③：パックテストによる川の清濁状況

パックテストにより川の水がきれいなことを確かめ、ゴミを捨てることによる川への影響を考えた。



学習内容④：川の安全利用講習

大雨が降った際に河川がどう変化するのかを知り、増水時の川の怖さを知った。



【学習結果と考察】

- 比較的汚い川にいる生物が確認される一方で、綺麗な川にでも生息する生物が見られ、多種多様な生態系を創出している。
- 普段は何気なく渡る苔川でどんな災害があったかを知ることができた。
- 川における危険個所を知り、川で遊ぶ際の注意点を学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 昨年の災害で苔川付近でも大きな災害があったことを話し川の恐ろしさを学ぶ。自分たちの住む地域がどんな地域であるかを認識してもらえたと思う。

備　　考	

記入者	所属：河川砂防係	氏名：高橋　健	電話番号（内線）	0577-33-1111(382)

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	飛騨市立古川小学校	担当教員名	中口先生	対象学年・人数	４年生７４名
実　施　日	６月２２日（月）		実施場所	荒城川（古川小学校付近）	
テ　ー　マ	「身近な河川環境」 カワゲラウォッチングを通し、河川環境の保全について理解を深める。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所環境課	

学習内容①：荒城川の生態を知る

カワゲラウォッチングを行い、荒城川に棲む生物の採取を行った。指標生物の集計を行うとともに、川の中にどのような生物がいるか学んだ。



学習内容②：川の水質について学ぶ

河川の水、水道水、スポーツドリンク、洗剤水の４種について、パックテストによるＣＯＤ比較を行った。普段はきれいな水もゴミや生活排水によって汚れてしまうことを学んだ。



学習内容③：川の危険性について学ぶ

川と親しむことの楽しさを知ると同時に、川には危険な側面もあるため、川に入る際には子供だけではなく大人と一緒に入るなど、安全面に気を付ける必要があることを学んだ。



学習内容④：

【学習結果と考察】

- きれいな水に棲む生き物を多く発見した一方で、汚い水に棲む生き物も少数ながら確認した。
- スポーツドリンクや家庭用洗剤水でパックテストを行うと、普段の荒城川の水より高いＣＯＤ値を示した。人が環境に配慮しなければ、川の水質が悪化してしまうことを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- きれいな水に棲む生き物を多く発見したことで、児童にとって身近な河川である荒城川が、きれいな川であることを認識してもらうことができた。その一方で、きたない水に棲む生き物も少数ながら確認したことで、さらに川をきれいにしていこうという意識を持ってもらうことができた
- 児童に川で遊ぶ際の注意点等について認識してもらうことができた。

備　　考	

記入者	所属：河川砂防係	氏名：吉村　優一	電話番号（内線）	0577-73-2911(263)

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	中谷先生	対象学年・人数	４年生５０名
実　施　日	７月２日（木）		実施場所	宮川（古川西小学校付近）	
テ　ー　マ	「身近な河川環境」 カワゲラウォッチングを通し、河川環境の保全について理解を深める。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所環境課	

学習内容①：宮川の生態を知る

カワゲラウォッチングを行い、宮川に棲む生物の採取を行った。指標生物の集計を行うとともに、川の中にどのような生物がいるか学んだ。



学習内容②：川の水質について学ぶ

河川の水、水道水、スポーツドリンク、洗剤水の４種について、パックテストによるＣＯＤ比較を行った。普段はきれいな水もゴミや生活排水によって汚れてしまうことを学んだ。



学習内容③：川の危険性について学ぶ

川と親しむことの楽しさを知ると同時に、川には危険な側面もあるため、川に入る際には子供だけではなく大人と一緒に入るなど、安全面に気を付ける必要があることを学んだ。



学習内容④：

【学習結果と考察】

- きれいな水から汚い水に棲む生物まで幅広い生態系が確認できた。
- スポーツドリンクや家庭用洗剤水でパックテストを行うと、普段の宮川の水より高いＣＯＤ値を示した。人が環境に配慮しなければ、川の水質が悪化してしまうことを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- きれいな水に棲む生き物が確認できた一方、汚い水に棲む生き物も確認したことで、児童にとって身近な河川である宮川を、さらにきれいな川にしていこうという意識を持ってもらうことができた。
- 児童に川で遊ぶ際の注意点等について認識してもらうことができた。

備　　考	

記入者	所属：河川砂防係	氏名：吉村　優一	電話番号（内線）	0577-73-2911(263)

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	飛騨市立神岡小学校	担当教員名	可児先生	対象学年・人数	４年生５６名
実　施　日	７月３日(金)		実施場所	高原川（神岡小学校付近）	
テ　ー　マ	「身近な河川環境」 カワゲラウォッチングを通し、河川環境の保全について理解を深める。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所環境課	

学習内容①：高原川の生態を知る

カワゲラウォッチングを行い、高原川に棲む生物の採取を行った。川の中には様々な生物が生息していることを学んだ。



学習内容②：高原川の生態を知る（採取生物の判別）

高原川で採取した生物の種類を判別して、その生物がどのような水質で生息している生物なのかを各水質ごとに集計した。また、集計結果を発表し、高原川がどのような河川なのかを考えた。



学習内容③：川の危険性について学ぶ

川と親しむことの楽しさを知ると同時に、川には危険な側面もあるため、川に入る際には子供だけではなく大人と一緒に入るなど、安全面に気を付ける必要があることを学んだ。



学習内容④：

【学習結果と考察】

- カワゲラウォッチングの結果、きれいな水に生息するカワゲラ、カゲロウ類が多数採取された。以上の結果から、神岡小付近の高原川の水質は良好であることが確認できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 身近に豊かな自然があることを児童に認識してもうとともに、環境を守ることの大切さについて知ってもらうことができた。
- 実際に川に入り調査を行うことで、楽しみながら河川環境について学んでもらうことができた。
- 児童に川で遊ぶ際の注意点等について認識してもらうことができた。

備　　考	７月４日（土）岐阜新聞（飛騨地域版）に記事が掲載されました。【巻末資料１０５頁掲載】

記入者	所属：河川砂防係	氏名：吉村　優一	電話番号（内線）	0577-73-2911(263)

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	森腰先生、杉浦先生	対象学年・人数	５年生４６名
実　施　日	１０月２３日(金)		実施場所	古川西小学校	
テ　ー　マ	「伝統的防災マップを活用した地域防災教育」 伝統的防災施設（霞堤・輪中堤）について学び、地域防災について理解を深める。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：伝統的防災施設について学ぶ

伝統的防災施設である、霞堤・輪中堤の仕組みや効果を学んだ。霞堤が小学校のすぐ近くの宮川にもあることを説明した。



学習内容②：実験により霞堤について学ぶ

霞堤の仕組みを実感してもらうため、模型を用いて実験を行った。霞堤の働きにより、水の到達を遅らせることができ、その間に避難が可能となることを学んだ。



学習内容③：霞堤を実際に見てみる

実際に近くの霞堤まで行き、この地域にも伝統的防災施設があることを知ってもらった。



学習内容④：霞堤の重要性について考える

講義、実験で学んだことから、わかったことや感じたことについて発表を行った。



【学習結果と考察】

- 県内に存在する伝統的防災施設として、霞堤および輪中堤について、その仕組みと効果について学んだ。
- 模型を用いた実験により、霞堤がある場合は、ない場合に比べて川の水位が上がりにくく、住宅地への洪水の到達までに時間が稼げることがわかった。
- 上記の結果を受けて、児童からは「霞堤があることで、自分たちの家が守られていることがわかった」等の意見が出た。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 伝統的防災施設である霞堤が身近にあることを児童たちに認識してもらうことができた。
- 実験により楽しんで学んでもらうことができた。また、霞堤の効果について肌で感じることができ、水害から身を守るためには、先人の知恵である霞堤を残していく必要があると知ってもらうことができた。

備　　考	子ども達から感想の手紙をいただきました。 10 月 24 日（土）中日新聞（飛騨版）に総合学習の記事が掲載されました。 【巻末資料１０６頁掲載】

記入者	所属：河川砂防係	氏名：吉村　優一	電話番号（内線）	0577-73-2911(263)

様式①　　（県庁　河川課）

支援組織名	ー	担当 教員名	ー	対象学年 及び人数	1年生～6年生　34名
実　施　日	７月２７日(月)			実施場所	長良川うかいミュージアム
テ　ー　マ	清流の国ぎふ水環境イベント 清流長良川を学ぼう！！			分　類	治水 ・環境・ 砂防 ・ 安全啓発
				連携機関	NPO法人長良川環境レンジャー協会、 長良川漁業協同組合、県水産研究所、 長良川温泉泊覧会事務局、県水産振興室

学習内容①：川を学ぼう

ライフジャケットの試着体験を通じて、川で安全に遊ぶためのルールを学ぶ。



学習内容②：洪水と治水を学ぼう

先人の知恵によって造られた霞堤（伝統的防災施設）の仕組みを模型実験によって学ぶ。



学習内容③：伝統漁法と長良川の生き物を学ぼう

手投網、投網の実演やいしこびき網の体験により伝統漁法を学ぶとともに、長良川の生き物を学ぶ



学習内容④：アユを学ぼう

食育を通じてアユの文化を学ぶ



【学習結果と考察】

・伝統的防災施設が地域を守っていることや伝統漁法、長良川の生き物について家族で考えるよい機会となった。
・参加者からは「体験型のプログラムで楽しかった」、「親子で川の安全な遊び方を学べてよかった」、「模型を使った実験は分かり易かった」との感想をいただいた。

【河川課担当者の所感（当事業の成果等）】

・子ども達に川の役割や防災施設の役割を理解してもらえるよう、スライドの他に、冊子（岐阜県伝統的防災施設マップ）やアニメーション動画、模型を使用して説明した。
・各テーマを体験型のプログラムとすることで、参加者の理解がより深まったと考える。

備　　考	1年生6名,2年生11名,3年生3名 4年生8名,5年生4名,6年生2名

記入者	所属：企画環境係	氏名：今井雄	電話番号（内線）	058-272-1111(3730)

様式①　　（　県庁　砂防課）

支援学校名	ー	担当教員名	ー	対象学年・人数	小中学生　16 名
実　施　日	１０月３１日(土)		実施場所	関市（入道洞、市場）	
テ　ー　マ	「砂防を学ぶ」 現場見学会を通じて、土砂災害や砂防事業について学習する		分　類	治水 ・ 環境 ・ [砂防] ・ 安全啓発	
			連携機関	岐阜県砂防協会	

学習内容①：　砂防えん堤のはたらき

砂防えん堤のはたらきや土石流の危険性について、パネルを用いた説明を受け、理解を深めた。



学習内容②：砂防えん堤の見学

入道洞の砂防えん堤の袖から谷の上下流を見学した。土石流やえん堤の規模の大きさを認識し、土砂災害の危険性を学んだ。



学習内容③：急傾斜地崩壊対策施設のはたらき

急傾斜地の定義や、対策施設の効果などについて、パネルを用いた説明を受け、理解を深めた。



学習内容④：急傾斜地崩壊対策施設の見学

擁壁の上から施設を見学し、施設の構造や擁壁の働きを学んだ。



【学習結果と考察】

- 砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業の現場に赴き、それぞれの土砂災害の性質や対策施設の構造について学習した。
- 普段は立ち入らないような場所から施設を間近に見学し、その構造や効果について身を持って学習した。
- 現場までのバスの中では、土砂災害に関するビデオを用いて土砂災害のソフト対策について学習した。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 近年大規模な土砂災害が多発しているため、参加者の関心は高いように感じた。土砂災害や砂防事業に関して十分に理解を得られたと考えられる。
- 今後もソフト対策について興味をもち、学習してほしい。

備　　考	参加者内訳（保護者：９名、中学生：１名、小学生：１５名）

記入者	所属：企画係	氏名：澤井　健志	電話番号（内線）	058-272-1111（3743）

支援学校名	岐阜市立早田小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	６ページ

【児童からの手紙】









記入者	所属：河川第一係	氏名：畑中　章吾	電話番号（内線）	０５８－２１５－０９７８

支援学校名	北方町立北方西小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	7ページ

【新聞記事】



網を使って川にすむ生き物を捕獲する子どもたち＝北方町高屋の糸貫川で

魚を捕獲し大歓声
糸貫川で生物調査
北方西小生

北方西小学校（北方町長谷川西）の四年生三十六人が、同町高屋の清流平和公園沿いを流れる糸貫川で、どんな生き物がすんでいるのか捕まえて確認する生物調査をした。

ひざ上まで川に入った子どもたちは、水草の根元などに網を入れてゆすり、生き物を捕獲。オイカワやカワヨシノボリ、アメリカザリガニなどが網に入り、「大物が捕れた」などと歓声を上げた。

川尻可児さん（九つ）、服部友哉君（九つ）は「少しだけど魚が捕れて楽しかった。水は思ったよりきれいだけど臭いもあった」と話した。

生き物は学校へ持ち帰り、県岐阜土木事務所職員から生態などについて説明を受け、川の汚れの程度を示す化学的酸素要求量（COD）も調べた。（水越直哉）

平成27年7月17日（金） 中日新聞 岐阜・近郊版

記入者	所属：河川第一係	氏名：畑中　章吾	電話番号（内線）	０５８－２１５－０９７８

支援学校名	北方町立北方南小学校	（ 1 ／ 2 ）	関連ページ	８ページ

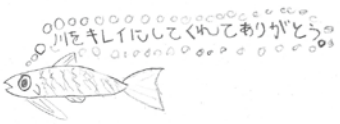
【お礼の手紙】

岐阜土木事務所のみなさん

私は水しつを調べたり、川の生き物にふれあて川にすきかんを
使ったりジュースを少しですもえたりするとてもきたなくなる
ことを学べました。あと綾川がパックテストもしてきれいだったこと
とは知りませんでした。またきずをとられあい体験にあるけど、
魚の数が少なくもどっていいに川を利用したいです。今回は
さまざまな勉強をさせていただきありがとうございます。これからは
川がもっときれいになるように工夫したりしてゆうとれる川にして
いきたいです。

岐阜土木事務所のみなさん

みなさんのおはなしを聞いて川は、魚たちにとってた
いせつな川なんだなとわかりました。これからは、川にゴミやカンをすてないようにしたいです。
そのことをかぞくやそれにおじいちゃんやおばあちゃん
たおしえてあげたいです。初めてこんなことを
おしえてくださってありがとうございました。また
岐阜土木事務所のみなさんのおはなしをききたい
です。



川もゴミの

岐阜土木事務所のみなさへ

この前は清流平和公園まできてくださってあ
りがとうございました。生き物調べの時に
いろいろな魚や、大きな魚がたくさんいました。
パックテストの時もいろいろと説明などをしてくださって
ありがとうございました。パックテストで、考えてくだ
たことをしっかりとまもっていきたいですあざわさ北方南小
学校まできてくださってありがとうございました。これか
らも生き物や川や海や森を大切にしていきたいです。



岐阜土木事務所みなさんへ

いろいろな魚が見れて知らなかったことが
わかるようになって、にどとこんなきちょうな、とは
ないと思います。川には、ゴミやカンがあってだれだろうと思いました。
そして土木事務の方たちがいろいろしていることに、本当に感
動しました。だから、わたしは自分の物ではないけれど、
自分のものではないけれど、拾えるよう心がけたいです。こんなきちょうな体験をしてくださって、本
当にありがとうございます。楽しい1日になりました。



支援学校名	北方町立北方南小学校	(　2　／　2　)	関連ページ	８ページ

【新聞記事】

川の生き物、観察したよ

北方の小学生、環境学習



川に入って夢中で魚を探す児童たち＝北方町高屋

北方町高屋の糸貫川に今年開設された清流平和公園で9月30日、地元の小学生が環境学習の授業を体験した。

この公園は国土交通省の支援制度を利用。県が長さ約160㍍の石積み護岸を設置し、町が川沿いに約9千平方㍍の芝生公園を造成して3月に完成させた。公園でくつろいだり、川の中に入って自然に触れたりすることができる。

この日は、町立北方南小学校の4年生64人が総合学習の授業で公園を訪れた。川の生物の生態を調べるために網を持って川に入り、1時間ほどかけてとった生き物を水槽に入れて観察。オイカワ、ヨシノボリ、カマツカ、アブラハヤの魚4種とタイワンシジミやアメリカザリガニなどの生物を確認した。

平成27年10月2日(金)　朝日新聞　地域総合版

記入者	所属：河川第一係	氏名：畑中　章吾	電話番号（内線）	０５８－２１５－０９７８

支援学校名	北方町立北方小学校	(　1　／　1　)	関連ページ	１０ページ

【新聞記事】



地域の川の水質
小学生らが検査
北方小

北方町の北方小学校の環境学習が、同町高屋の清流平和公園で開かれた。四年生八十二人が公園沿いの糸貫川に入り、生物の観察や水質の検査をした。

子どもたちはオイカワやヨシノボリを網ですくって観察した。水質の検査では、水の汚れの目安となる「化学的酸素要求量」を調べるキットを使い、川の水、水道水、ジュース数滴を入れた川の水―の違いを調べた＝写真。

試薬入りのチューブに入れると、川の水や水道水はきれいさを表すピンク色になり、ジュース入りの水は汚れを示す緑色になった。指導した岐阜土木事務所（岐阜市）河川砂防課の畑中章吾さん(四二)は「ちょっとしたゴミで生き物がすめない川になってしまう。汚さない努力を」と呼び掛けた。川でペットボトルや空き缶を見つけた小林芽生さん(一〇)は「公園に遊びに来た人が何げなく捨てたんだと思う。生き物がいる環境を大切にしたい」と話した。（菅あかり）

平成27年10月20日（火）　中日新聞　岐阜・近郊版

記入者	所属：河川第一係	氏名：畑中　章吾	電話番号（内線）	０５８－２１５－０９７８

巻末資料（様式②）　　（　美濃土木事務所　　河川砂防課　　）

支援学校名	美濃市立牧谷小学校	（　１　／　１　）	関連ページ	１９ページ

【新聞記事】



カワゲラ見つけた

牧谷小児童、板取川で水生生物観察

生息域分類、水質チェック

平成27年6月19日（金）岐阜新聞　中濃版

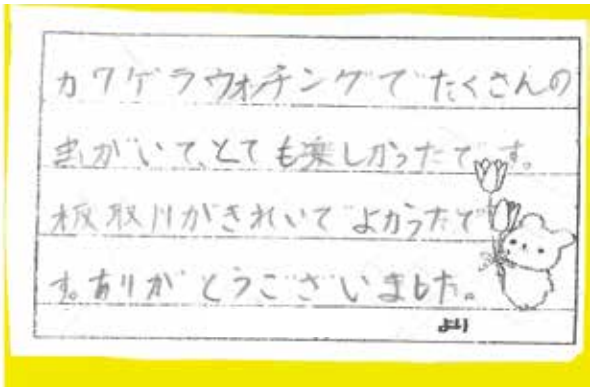


板取川の生き物観察

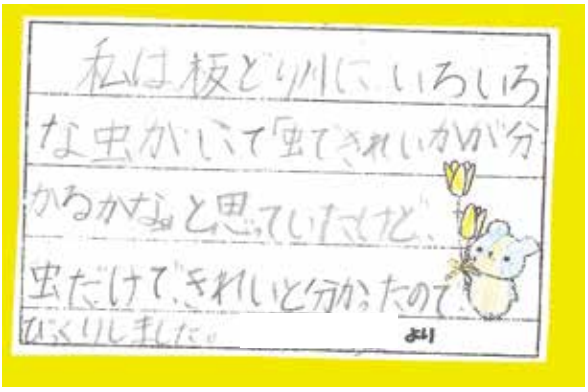
美濃・牧谷小の5年生

平成27年6月19日（金）中日新聞　中濃版

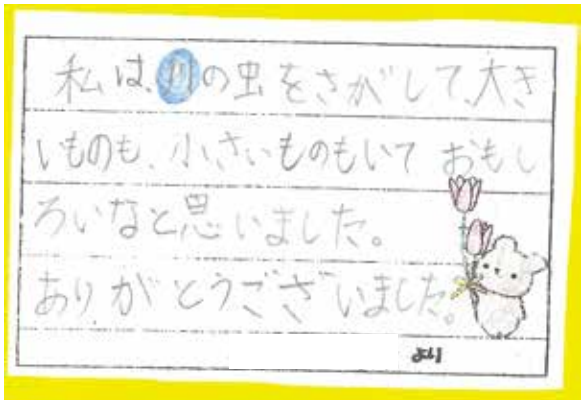
【児童からの手紙】



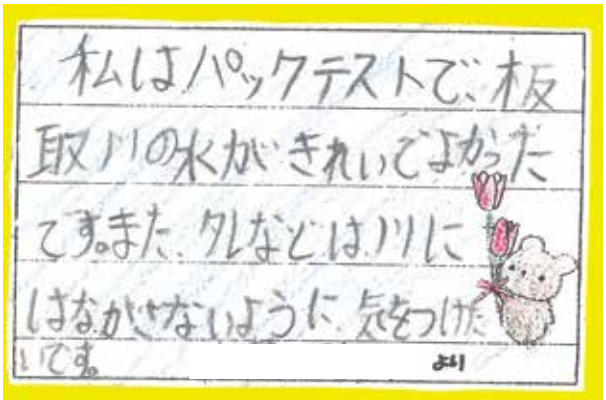
カワゲラウォチングでたくさんの
虫がいて、とても楽しかったです。
板取川がきれいでよかったです。ありがとうございました。
より



私は板どり川にいろいろ
な虫がいて「虫できれいかが分
かるかな」と思っていたけど、
虫だけできれいと分かったので
びっくりしました。
より



私は川の虫をさがして大き
いものも、小さいものもいて おもし
ろいなと思いました。
ありがとうございました。
より



私はパックテストで、板
取川の水がきれいでよかった
です。また、タレなどは川に
はなかさないように、気をつけた
いです。
より

記入者	所属：河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

支援学校名	関市立博愛小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	２０ページ

【児童からの手紙】





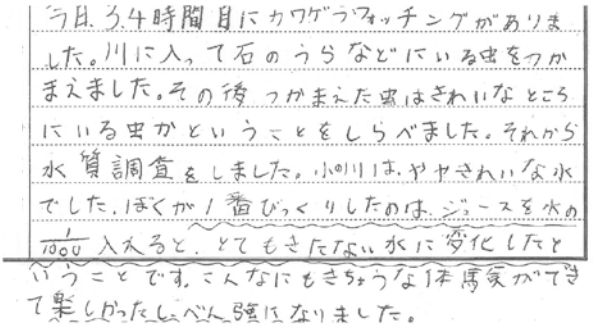


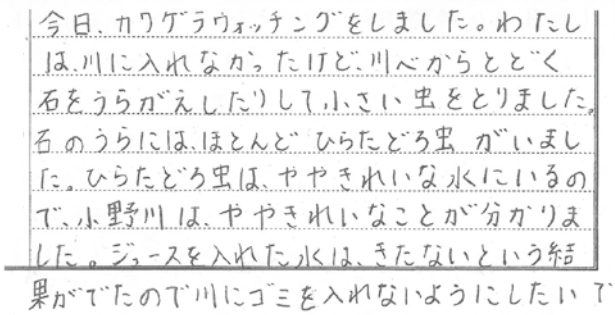


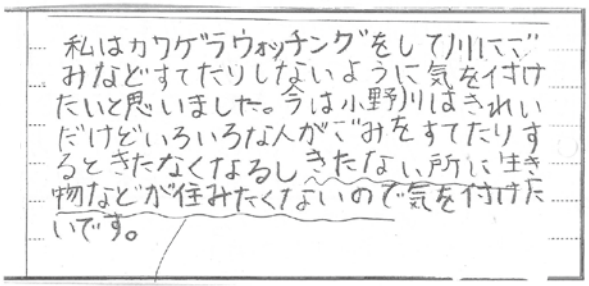
記入者	所属：河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011（323）

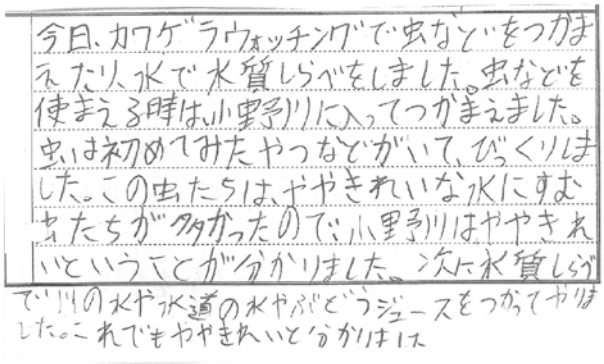
支援学校名	関市立富野小学校	(　1　／　1　)	関連ページ	２２ページ

【児童からの手紙】


今日、3,4時間目にカワゲラウォッチングがありました。川に入って石のうらなどにいる虫をつかまえました。その後つかまえた虫はきれいなところにいる虫かということをしらべました。それから水質調査をしました。小野川はややきれいな水でした。ぼくが1番びっくりしたのは、ジュースを水の1000入れると、とてもきたない水に変化したということです。こんなにもきちょうな体験ができて楽しかったしべん強になりました。


今日、カワゲラウォッチングをしました。わたしは川に入れなかったけど、川べからとどく石をうらがえしたりして小さい虫をとりました。石のうらには、ほとんどひらたどろ虫がいました。ひらたどろ虫は、ややきれいな水にいるので、小野川は、ややきれいなことが分かりました。ジュースを入れた水は、きたないという結果がでたので川にゴミを入れないようにしたいです。


私はカワゲラウォッチングをして川にごみなどすてたりしないように気をイけたいと思いました。今は小野川はきれいだけどいろいろな人がごみをすてたりするときたなくなるしきたない所に生き物などが住みたくないので気を付けたいです。


今日、カワゲラウォッチングで虫などをつかまえたり、水で水質しらべをしました。虫などを使まえる時は小野川に入ってつかまえました。虫は初めてみたやつなどがいて、びっくりしました。この虫たちは、ややきれいな水にすむ虫たちが多かったので、小野川はややきれいということが分かりました。次に水質しらべで川の水や水道の水やぶどうジュースをつかってやりました。これでもややきれいと分かりました

記入者	所属：河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

巻末資料（様式②）　　（ 美濃土木事務所　　河川砂防課　　）

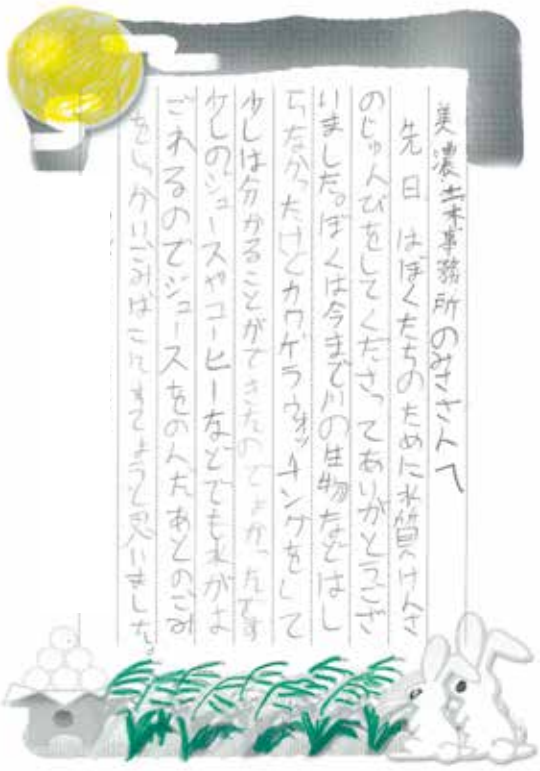
支援学校名	関市立安桜小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	２４ページ

【児童からの手紙】


美濃土木事務所のみなさんへ
先日は、大切な時間をさいてまで、私たちの授業のお手伝いをしてくださって、ありがとうございました。私が一番話を聞いてびっくりしたことは、水にコーヒーやジュースをたったてき入れるだけで、水のきたなさが最大の水以上だったのが、とてもおどくりでした。私は、今回の授業での経験を忘れず、これからも川にごみなどは捨てないと改めて思いました。本当に、ありがとうございました。


美濃土木事務所の方へ
この前ぼく達のために水質等を教えていだきありがとうございました。ぼくは夏休みに水質について調べました。でも1mlのジュースやコーヒーに入れただけで、あんなに、汚なくなるとは思いませんでした。なので、ぼくは、絶対に、ゴミを捨てないようにしようと思いました。また、捨てている人がいたら、注意しようと思いました。


美濃土木事務所のみなさんへ
このあいだは、いきいきえんさにな、たりしたけど、ありがとうございました。私は、バックテストをやってみてびっくりしました。コーヒーを一てきいれただけで、水がきたなくなったのでびっくりしました。川の中にはいって生き物をつかまえて、あとからすぐ見ました。見たことも聞いたこともない名前だったので、分かってよかったです。ありがとうございました。


美濃土木事務所のみなさんへ
先日はぼくたちのために水質けんさのじゅんびをしてくださってありがとうございました。ぼくは今まで川の生物などはしらなかったけどカワゲラウォッチングをして少しは分かることができたのでよかったです。少しのジュースやコーヒーなどでも水がよごれるのでジュースをのんだあとのごみをしっかりごみばこにすてようと思いました。

記入者	所属：河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

支援学校名	関市立金竜小学校	(　1　／　1　)	関連ページ	２７ページ

【新聞記事】



川の水を田畑へ、洪水被害防げ

「霞堤」効果、模型で実験

地域防災授業 金竜小児童、昔の知恵学習

洪水被害を防ぐために遊られた伝統的な防災施設について学ぶ地域防災授業が18日、関市上白金の金竜小学校で開かれ、4年生97人が伝統的な治水技術を勉強した。（青山和史）

◇

授業は県美濃土木事務所が実施。洪水被害を軽減するために一定の水位になると、増水した水を田畑に逃がす霞堤の役割について知ってもらおうと、長良川や津保川、今川の近くにある関校で行った。

県が作った「伝統的防災施設マップ」を基に授業が行われ、児童は、同校近くの長良川にも霞堤があり、過去の台風などによる治水被害を軽減してきたことも教わった。

また、模型で増水した川の状況をつくり、堤防を越えずに導水路に流れ込むようにする「堤防や霞堤が役に立っていること」が分かった。小林勇介君(10)は「霞堤の有無で水の動きがどうつなるのか、実験した」と話した。

川の模型を使った実験で霞堤の意義を学ぶ児童＝関市上白金、金竜小学校

平成28年2月19日(金)岐阜新聞　中濃版



すごいね「霞堤」の知恵

関・金竜小 模型使った実験も

大規模な洪水に備えて先人たちが整備した「伝統的防災施設」について学ぶ特別授業が十八日、関市金竜小学校であった。県内の同施設をまとめたマップを活用した授業で、美濃土木事務所の職員が来校。四年生児童九十七人が話を聞いた。

職員の井藤宏紀さん(三)が、堤防にすき間を設け、洪水時の水を田畑などに逃がすことで川の水位を上がりにくくする「霞堤」について説明。「関、美濃地域に多くあり、下流への水量を減らすことで岐阜市も守っている」と説明した。

水が流れる模型を使って仕組みを学ぶ実験もあり、児童は通常の堤防と霞堤でそれぞれ水が住宅地へとあふれる時間を計測。霞堤は通常の堤防の二倍以上持ちこたえ、驚きの声を上げた。

増井咲耶さん(一〇)は「学校の周りは川が多いけど、霞堤があるから安心」と話した。（織田龍穂）

模型を使った実験で霞堤の仕組みを学ぶ子どもたち＝関市金竜小で

平成28年2月20日(土)中日新聞　中濃版

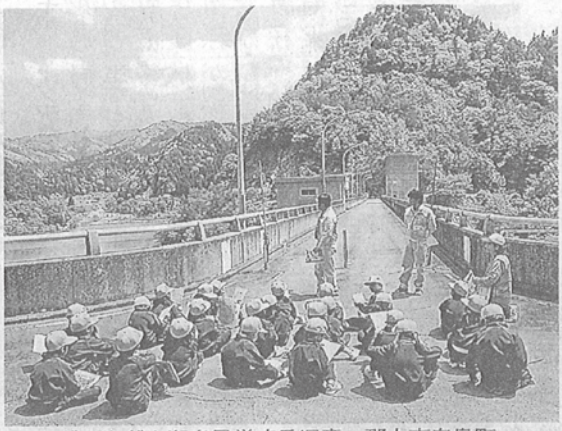
記入者	所属：河川係	氏名：井藤　宏紀	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

支援学校名	郡上市立牛道小学校	(　1　／　1　)	関連ページ	２８ページ

【新聞記事】

ダムの役割、分かった

郡上市 牛道小児童、阿多岐ダム見学



ダムやダム湖を見学する児童＝郡上市白鳥町、阿多岐ダム

郡上市白鳥町中西の牛道小学校の1、2年生が、同所の阿多岐ダムの見学を行い、ダムの役割などについて学んだ。

県では、地元の理解を深めようと、地域の小中学校と連携して河川に関する体験学習に取り組んでおり、県郡上土木事務所管内でもダム見学や出前講座などの支援を行っている。今回は、児童約30人が生活科の授業として見学した。

同ダムは、洪水調節と渇水時の水の安定供給を目的に、牛道川支流の阿多岐川に建設された重力式コンクリートダム。

児童らは同事務所職員の案内で、ダムの役割などについて説明を受けた後、えん堤に上がりダムやダム湖を見学。エレベーターでダム内部にも入り、漏水量計、地震計などがあることも学んだ。

(長瀬勝巳)

平成27年5月13日(水)岐阜新聞　中濃版

記入者	所属：河川係	氏名：森田茂樹	電話番号（内線）	0575-67-1111(内 343)

支援学校名	郡上市立 高鷲小学校 海津市立 東江小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	２９ページ

【広報郡上８月号】



『長良川上下流の児童が一緒に水質調査』
－ 高鷲小と海津市立東江小の４年生が交流 －

6月24日㈬ 海津市の東江小学校が取り組んでいるカワゲラウォッチング（水生生物による水質調査）を、高鷲小学校4年生と合同で開催しました。この日は、国交省木曽川下流河川事務所と岐阜県郡上土木事務所の支援を受け、高鷲町の中ノ島公園周辺で調査を行いました。

また、調査後は給食を一緒に食べ、長良川で結ばれる両校の交流会が行われました。

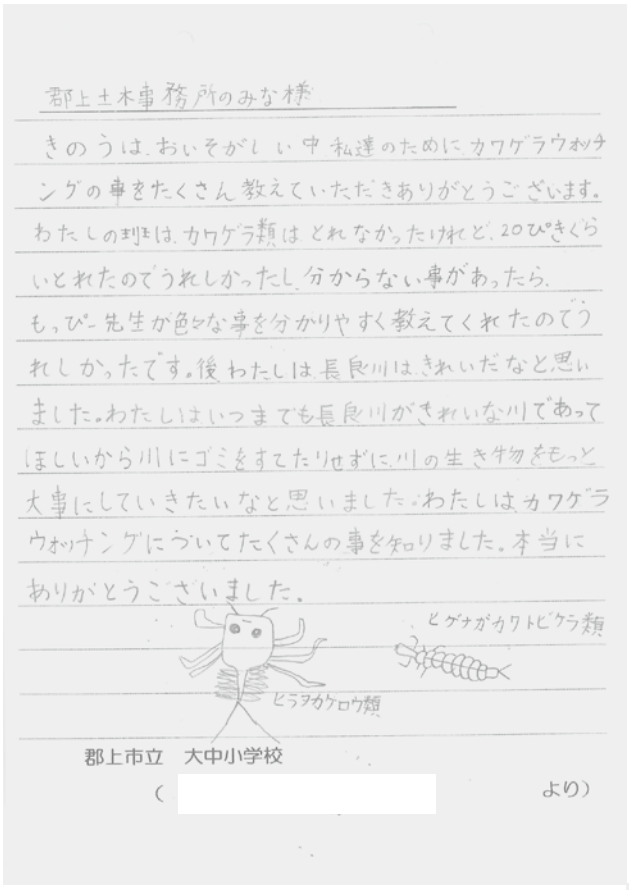
今月の主な内容

ふるさと寄附のお願い及び活用報告……P 2
平成27年国勢調査の調査対象など……P 4
木造密集市街地の防災対策……P 6
募集・お知らせ……P 20
戸籍のまど……P 28
地域密着！郡上ケーブルテレビ……P 29
情報掲示板……P 30

記入者	所属：砂防係	氏名：三宅伸也	電話番号（内線）	0575-67-1111（内 341）

支援学校名	郡上市立大中小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	３１ページ

【生徒からのお礼状】



郡上土木事務所のみな様

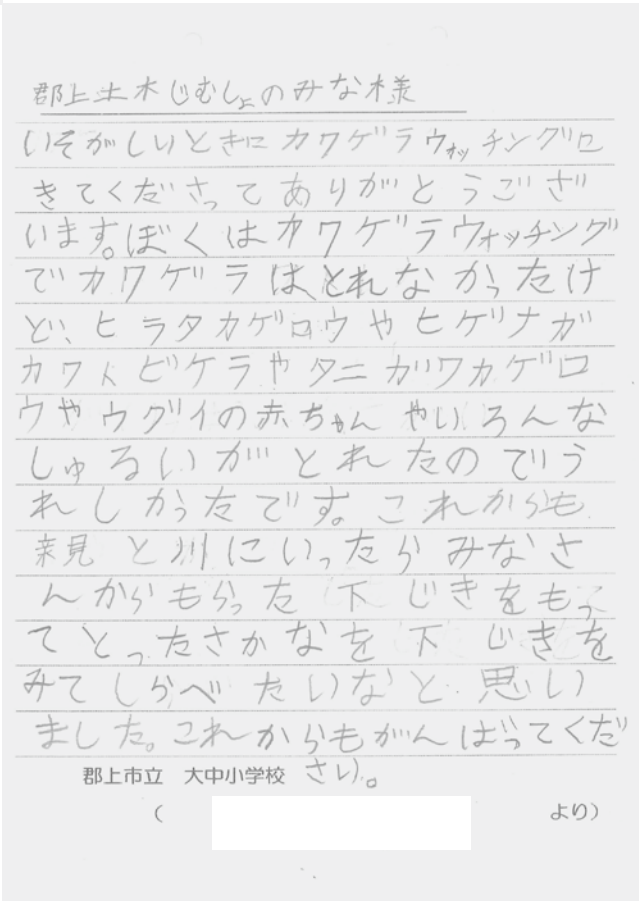
きのうは、おいそがしい中私達のためにカワゲラウォッチングの事をたくさん教えていただきありがとうございます。わたしの班は、カワゲラ類はとれなかったけれど、20ぴきぐらいとれたのでうれしかったし、分からない事があったら、もっぴー先生が色々な事を分かりやすく教えてくれたのでうれしかったです。後わたしは長良川はきれいだなと思いました。わたしはいつまでも長良川がきれいな川であってほしいから川にゴミをすてたりせずに、川の生き物をもっと大事にしていきたいなと思いました。わたしはカワゲラウォッチングについてたくさんの事を知りました。本当にありがとうございました。

ヒゲナガカワトビケラ類

ヒラタカゲロウ類

郡上市立　大中小学校

（　　より）



郡上土木事むしょのみな様

いそがしいときにカワゲラウォッチングにきてくださってありがとうございます。ぼくはカワゲラウォッチングでカワゲラはとれなかったけど、ヒラタカゲロウやヒゲナガカワトビケラやタニガワカゲロウやウグイの赤ちゃんやいろんなしゅるいがとれたのでうれしかったです。これからも来見と川にいったりみなさんからも分た下じきをもってとったさかなを下じきをみてしらべたいなと思いました。これからもがんばってください。

郡上市立　大中小学校　さん。

（　　より）

記入者	所属：河川係	氏名：森田茂樹	電話番号（内線）	0575-67-1111(内 343)

支援学校名	郡上市立 明宝小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	３２ページ

【新聞記事】



「砂防えん堤は重要」

吉田川 明宝小児童が役割学ぶ

郡上市明宝の明宝小学校の児童が、土石流を止めるために設置されている吉田川の上坂本砂防えん堤とえん堤脇の魚道を見学し、役割を学んだ。

4年生10人が参加。郡上土木事務所が、地元児童に川への理解を深めてもらおうと実施し、事務所職員が講師を務めた。

学校で、職員から土石流が発生する仕組みや、最近の郡上市での災害を学んだ後、バスで現場に移動。高低差が約10㍍ほどもある砂防えん堤の大きさに驚いていた。

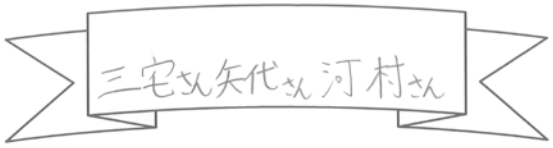
えん堤の段差は魚の遡上(そじょう)を妨げるため、県は二連のらせん構造が特徴の魚道を整備しており、魚道も見学。児童はアマゴを放した後、箱メガネを使って魚道内の観察を楽しんだ。

茨城県常総市で大雨による堤防決壊などがあったため、児童は高い関心を持って学んでいた。（佐名妙予）

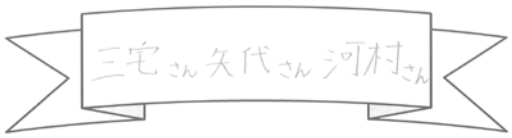
魚道にアマゴを放流して、箱メガネで観察する児童＝郡上市明宝

平成27年9月16日(水)岐阜新聞　中濃版

【児童からの手紙】



先日は、砂防えんていを見学させていただき、ありがとうございました。ぼくは、砂防えんていはとても大切だと思いました。それは、砂防えんていが無ければ、もけい実験のように、あっというまに家などが流されてしまったり、えいぞうのように、5メートルの石が流されてしまったりするからです。見学のために、じゅんびや、分かりやすい説明をして下さりありがとうございました。



先日は、砂防えんていや魚道を見学させていただきありがとうございました。もっとも心にのこったのは、魚道の出口の事です。ぼくはなんで丸太で魚道の出口がかこってあるのかふしぎに思っていました。かんばんを見たら、あれは、岩や流木が入らないように、工夫してあることが分かりました。たくさんのじゅんびをありがとうございました。

記入者	所属：砂防係	氏名：三宅伸也	電話番号（内線）	0575-67-1111(内 341)

支援学校名	郡上市立 和良小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	３３ページ

【新聞記事】

砂防ダムの効果に驚き

和良小で災害対策学習

郡上市和良町の和良小学校で27日、土石流の被害や災害への備えについて学ぶ授業が行われ、児童は、土石流の恐ろしさや砂防ダムの役割を学んだ。5年生11人を対象に、県郡上土木事務所河川砂防課の職員3人が講師を務めた。

土石流のスピード、何が流れてくるのか、どれ程の被害をもたらすのかについて、実際の映像を見て学び、直径約5㍍の大きな石が簡単に押し流されるのを見て、児童からは驚きの声が上がった。土石流の前触れの現象や避難と準備行動など、日頃からの備えの大切さも学んだ。

また、模型を使い、川に砂防ダムがあるのとないのでは、どれくらい被害の大きさが変わるかを実験。土石流で、被害の大きさが違うのに驚いた」と話し、児童が谷川に流すと家や橋が押し流されたが、砂防ダムを設置すると下流に流れ込む土石流が減少した。

参加した粥川倖多君と田口隼輔君は「砂防ダムがあるかないかで、被害の大きさが違うのに驚いた」と話し、に見立てたビーズを見た。（佐名妙予）



土石流の被害について学ぶ児童＝郡上市和良町、和良小学校

平成28年1月29日(金)岐阜新聞　中濃版

【児童からの手紙】

郡上土木事務所のみなさんへ

先日は砂防えん堤について教えていただきありがとうございました。

私はもけいを使って実験したときに砂防えん堤がないときもけいだったから楽しかったけど本当にそんなことがあったら大変だと思いました。砂防えん堤を使ったときは砂防えん堤があるとないとでは全然ちがうことが分かりました。だから砂防えん堤には命を守る大切な役割があるのだと分かりました。私は家の近くに山と川があるので気をつけたいです。私は家に兄弟でいることが多いのでもし土石流が来たときのために家族でハザードマップを確認したいです。

郡上土木事務所のみなさんへ

先日は砂防えんていについて教えていただきありがとうございました。

ぼくは、土石流がどれだけこわい物か分かったので家族とハザードマップのことについて話し合い、準備をしたいです。実験では、砂防えんていがあるかないかでだいぶちがうことが分かり砂防えんていは人の命や家まで役割があると知ってびっくりしたしすごいと感じました。ぼく達5年生は、5月に校外学習に行ってきました。その時砂防えんていがありました。流木や石などを止めていてその時は、よく役割は分からなかったけど今改めてすごいと感じました。ありがとうございました。

記入者	所属：砂防係	氏名：三宅伸也	電話番号（内線）	0575-67-1111(内 341)

支援学校名	七宗町立神渕小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	３４ページ

【新聞記事】

可茂土木

神渕小総合学習を支援

岐阜県可茂土木事務所は5月27日、七宗町立神渕小学校4年生の児童を対象に川を題材とした総合学習支援を行った＝写真。

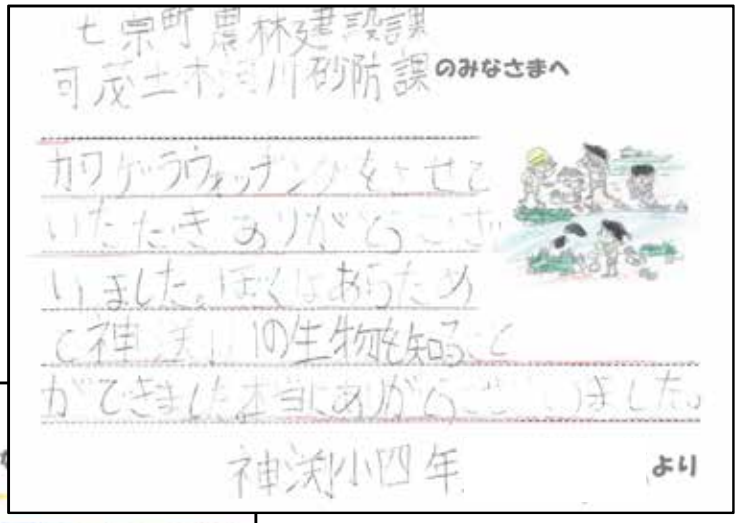


当日は小学校近くの神渕川でカワゲラウォッチングを行い、川に住む生物によって水のきれいさが分かることを学んだ。

また、室内学習では「川をきれいに」をテーマとして川の水質テストや川の生き物について学ぶことで環境への理解を深めた。

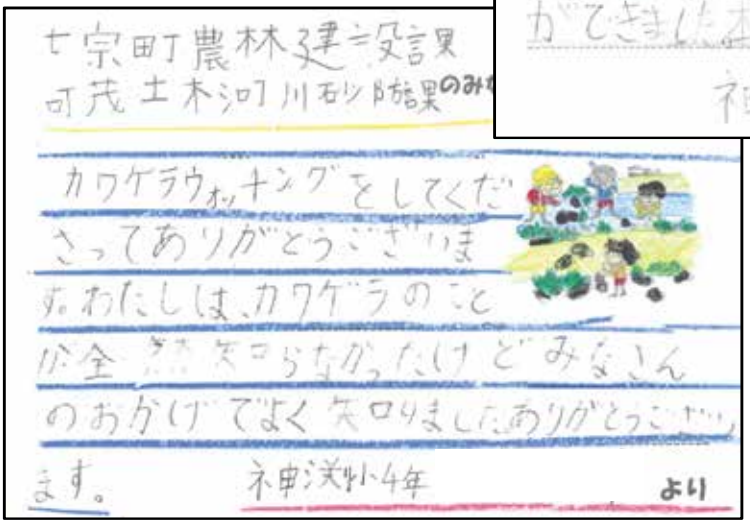
平成27年6月8日(月) 建通新聞

【児童からの手紙】


七宗町農林建設課
可茂土木河川砂防課のみなさまへ

カワゲラウォッチングをさせて
いただきありがとうございました。ぼくはおうたの
ご神渕川の生物を知ることができました本当にありがとうございました。

神渕小四年　より


七宗町農林建設課
可茂土木河川砂防課のみ

カワゲラウォッチングをしてくだ
さってありがとうございま
した。わたしは、カワゲラのこと
が全然知らなかったけどみなさん
のおかげでよく知りましたありがとうございま
す。

神渕小4年　より

記入者	所属:河川砂防係	氏名：平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

支援学校名	可児市立広見小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	３５ページ

【新聞記事】



広見小児童に総合学習支援

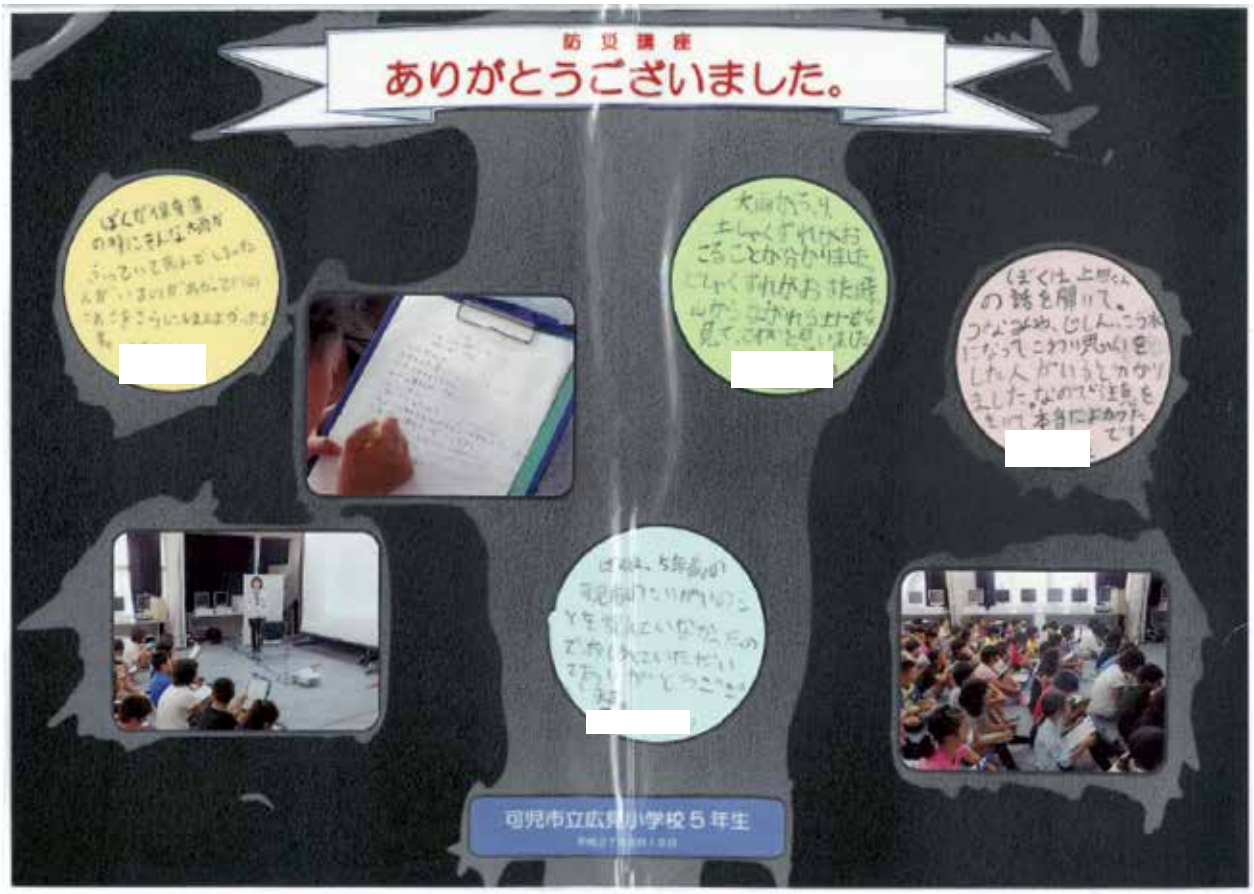
可茂土木

岐阜県可茂土木事務所は、総合学習支援活動として可児市の広見小学校で防災を題材にした総合学習を行った＝写真。

当日は広見小学校の5年生全員（141人）が参加。可茂土木事務所河川砂防課の職員2人から2010年7月15日に発生した豪雨災害の被災状況の資料を用いて災害の原因や、災害から身を守るための注意事項を説明することで児童の防災意識を深めた。

平成27年7月3日(金)　建通新聞

【児童からの手紙】



記入者	所属:河川砂防係	氏名：平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

巻末資料（様式②）　　（ 可茂土木事務所　　河川砂防課　　）

支援学校名	八百津町立潮見小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	３６ページ

【新聞記事】

身近な川の水質学ぶ

八百津潮見小　生き物捕まえて調査



検査薬を使って名場居川の水質を確かめる児童と高橋さん＝八百津町潮見鍵原で

八百津町潮見小学校の一～四年生七人が二日、身近な川の生き物を知り、水質を調べる総合学習に取り組み、校区の自然環境を学んだ。

木曽川支流の名場居川に出掛け、網を手に流れに入り、生き物を捕まえた。県可茂土木事務所（美濃加茂市）の職員らが講師を務めた。

子どもたちは夏の日差しの下、「カエルがいた」などと歓声を上げた。林直美さん（二年）は「小さな魚を見つけた。楽しかった」と笑顔だった。

捕まえた生き物は、種類ごとに分けて記録。きれいな水にすむサワガニやカワニナなどの生き物が見られた。検査薬での調査結果と併せて水質を確認した。

同事務所の高橋君治さん（四五）は「流れの速い場所や深い場所は危険。気をつけて楽しく遊んでください」と、川遊びの際の注意も伝えた。（酒井健）

平成27年7月7日（火）　中日新聞

記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

支援学校名	美濃加茂市立山手小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	４１ページ

【新聞記事】

豪雨災害の怖さ 出前授業で学ぶ

美濃加茂・山手小

県可茂土木事務所は十八日、美濃加茂市田島町の山手小学校で、防災をテーマにした出前授業をした。五年生約百人が、地元で一九八三年に発生した「9・28豪雨災害」の状況などを学んだ。

管内の小中学校の総合学習を支援する活動の一環。同事務所河川砂防課の高橋君治係長が、木曽川が氾濫し、大人の腰の辺りまで住宅や道路が水に漬かった当時の写真を見せながら、「ゲリラ豪雨などが増え、昔よりも洪水になりやすくなっている」と説明した。

昨年九月の関東・東北水害で、鬼怒川からあふれた泥水が街を流れる映像も紹介。「速い」「怖い」と驚く児童に、高橋さんは「早く安全なところに逃げるなど、命を守ることを第一に」と呼び掛けた。（平井一敏）



9・28豪雨災害の状況を説明する高橋さん＝美濃加茂市山手小で

平成28年2月20日（土） 中日新聞（中濃版）

9・28豪雨災害、教訓に

山手小で防災講座 避難方法など学習

美濃加茂市に甚大な被害をもたらした1983年の9・28豪雨災害を教訓にした、県可茂土木事務所の防災学習出前講座が、同市田島町の山手小学校で行われ、5年生107人が災害の怖さを知り、身を守る方法を学んだ。

災害から命を守る防災学習に力を入れている同校は、本年度の県学校安全優良校に選ばれた。今回もその取り組みの一つで、同事務所に講師派遣を依頼した。同災害では、台風による大雨で木曽川が氾濫、同市では死者・行方不明者4人を含む6196人が被災した。

同事務所河川砂防課の高橋君治係長は、豪雨災害時の市街地や濁流の木曽川などのスライド写真を示して「この時木曽川の水位は過去最高を記録し、建物が浸水し、車も流された」と説明。その後、治水対策で堤防が造られたほか、今後は上流に新丸山ダムが建設されることを説明した。

昨年9月の関東・東北水害で鬼怒川の堤防が決壊した茨城県常総市の被災映像も見せて、「災害を忘れないようにしてほしい。災害の時は命を守ることを第一に考え、早く安全なところに避難しよう」と呼び掛けた。（足立泰弘）



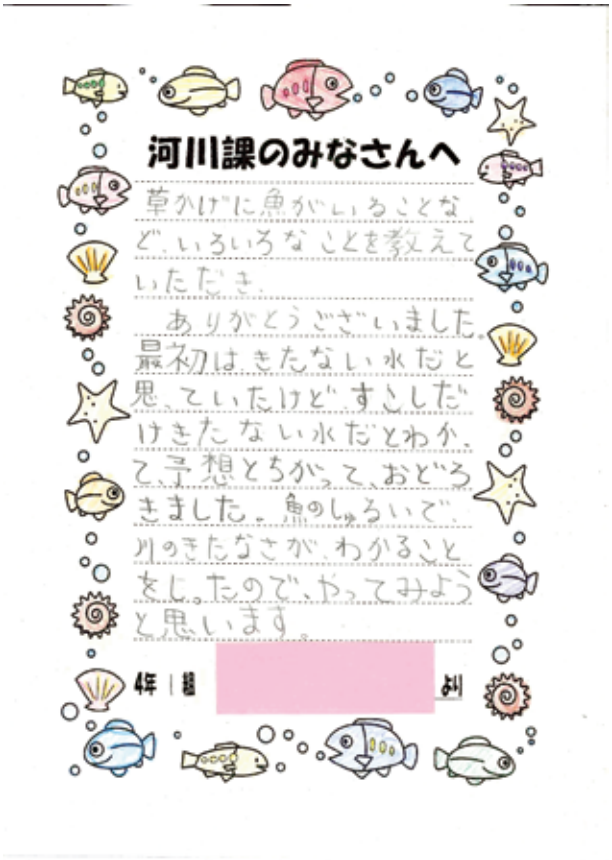
9・28豪雨災害を教訓に行われた防災学習出前講座＝美濃加茂市田島町、山手小学校

平成28年2月21日（日） 岐阜新聞（中濃版）

記入者	所属：河川砂防係	氏名 ： 平野　湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111(324)

支援学校名	恵那市立大井小学校	(　1　／　1　)	関連ページ	６３ページ

【学習を終えた児童らの感想】





記入者	所属：河川係	氏名：市川　裕規	電話番号（内線）	0573-26-1111(347)

支援学校名	高山市立南小学校	(　1　／　1　)	関連ページ	７３ページ

【新聞記事】



網で生き物を捕まえる子どもたち＝高山市上岡本町の苔川で

どんな生き物いるかな?

高山・南小児童が苔川を調査

高山市内を流れる苔川で十一日、同市南小学校の四年生六十六人が生き物を捕まえたり、水質を調査したりした。

児童らはサンダルや靴のまま川に入り、県職員の指導を受けながら、網で生き物を探した。きれいな川にすむヘビトンボやヨシノボリなどが見つかった一方、汚い川にすむとされるヒルも多く発見された。松山健太君(一〇)は「川が汚いと見た目も悪いし、生き物がいなくなっちゃう。きれいな川にしていかないと」と話していた。この後、児童らは高山土木事務所から河川の安全利用講習も受けた。(片山さゆみ)

平成27年6月12日(金)　中日新聞

記入者	所属：河川砂防係	氏名：高橋　健	電話番号(内線)	0577-33-1111(382)

支援学校名	飛騨市立神岡小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	８０ページ

【新聞記事】

カワゲラ見つけたよ

神岡小児童 高原川で水生生物観察



飛騨市神岡町船津の神岡小学校4年生56人が3日、同町を流れる高原川で水生生物の観察を行い、古里の川の水質などを調べた。

河川の水質をする大切さを知ってもらおうと、県飛騨農園局などが毎年実施している。児童らは県職員の指導を受けながら、たも網を手に川へ入り、川底や石の下にいる水生生物を採取した。

この後、各自が採取した生き物をバレットに集め、数や種類を子エック。カワゲラやヒラタカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラといったきれいな川に生息する生き物が数多く見つかった。

中谷数之介君(9)は「これまで見たことのない虫をたくさん捕まえた。友だちと一緒なので楽しかった」と話していた。

河川の安全利用講習も併せて行われ、児童たちは川で遊ぶときの注意点に理解を深めた。(古澤博史)

水中の生物を観察する児童ら＝飛騨市神岡町船津、高原川

平成２７年７月４日（土）岐阜新聞　飛騨地域版

記入者	所属：河川砂防係	氏名：吉村　優一	電話番号（内線）	0577-73-2911(263)

支援学校名	飛騨市立古川西小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	８１ページ

【配布資料】



【新聞記事】



伝統堤防の役割学ぶ

古川西小 輪中堤や霞堤など

伝統的な霞堤の役割を模型で学ぶ児童ら＝飛騨市古川西小で

地域に残る伝統的な堤防の役割を学ぶ総合学習の授業が二十三日、飛騨市古川西小学校であった。

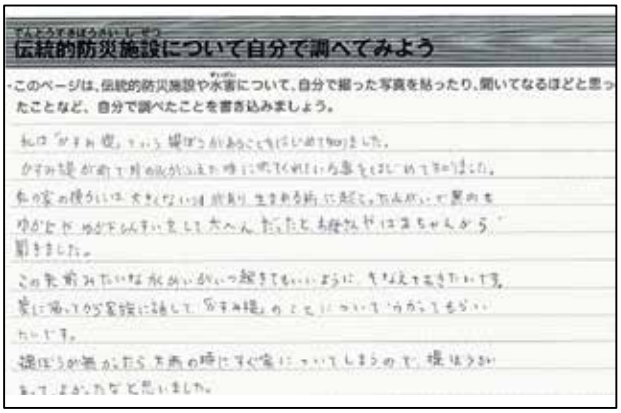
県内には、居住地の周囲に堤防をつくる「輪中堤」などが残っている。現在も水害防止に役立てられており、県は二〇一二年度にマップを作成。関係地域で授業を開き、周知を進めている。

県古川土木事務所の職員が講師を務め、五年生が学んだ。職員は九月に茨城県で氾濫した鬼怒川の写真も紹介し、水害の怖さや堤防の役割を解説した。

町内の宮川沿いに六カ所あり、堤防に隙間を造って水を流すことで水位を下げる霞堤も紹介。模型に水を流す実験を披露し、霞堤に水が入り込む様子を児童が興味深そうに見つめた。（島将之）

平成２７年１０月２４日（土）　中日新聞　飛騨版

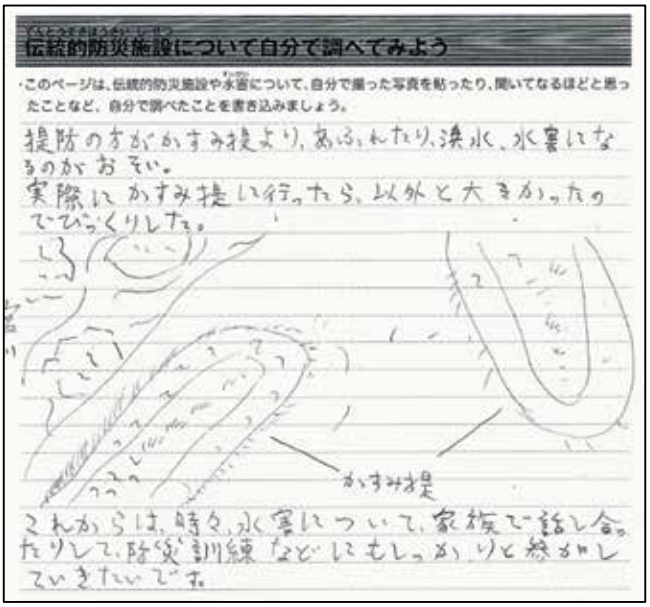
【児童からの感想】



伝統的防災施設について自分で調べてみよう

・このページは、伝統的防災施設や水害について、自分で撮った写真を貼ったり、聞いてなるほどと思ったことなど、自分で調べたことを書き込みましょう。

私は「かすみ堤」という堤防があることをはじめて知りました。
かすみ堤が初めて川の水がふえた時に水をためるという事をはじめて知りました。
私の家の使ういすやたんすは、成長して生まれる前に買ったものがいて家のものがどのようにすんでいるとたくさんたたたち家族がはまちがえるかと聞きました。
この先前みたいな水がいっぱいになってもいいように、そなえをきちんとする家に帰ってから家族に話して、かすみ堤のことについてもっとくわしくしらべたいです。
堤防ができたら大雨の時にすぐ家についてしまうので、堤防ができてよかったなと思いました。



伝統的防災施設について自分で調べてみよう

・このページは、伝統的防災施設や水害について、自分で撮った写真を貼ったり、聞いてなるほどと思ったことなど、自分で調べたことを書き込みましょう。

堤防のおかがかすみ堤より、あふれたり、浸水、水害になるのがおそい。
実際にかすみ堤に行ったら、以外と大きかったのでびっくりした。

これからは、時々、水害について、家族で話し合たりして、防災訓練などにもしっかりと参かしていきたいです。

記入者	所属：河川砂防係	氏名：吉村　優一	電話番号（内線）	0577-73-2911(263)

これまでの支援活動の経緯

岐阜県では、次の世代を担う子ども達に身近な川の環境を体感してもらうとともに、私達の暮らしを守る川の役割を知ってもらうことによって、未来の地球環境や水害軽減のための取り組みを考えるパートナーを育むことを目的に、川を題材とした「総合的な学習の時間」に取り組んでいる小中学校への支援を積極的に行っています。

平成１３年度に岐阜県内で河川や水辺を利用した自然学習を実践している代表校の先生や関係市町村職員、有識者、河川管理者等による「川を利用した自然学習懇談会～教育関係者と河川管理者の実務担当者懇談会～」で今後の自然学習を広める方策を検討し、平成１４年度より小中学校への本格的な支援を開始しました。

現在では、自然や環境だけでなく、治水、砂防、安全啓発など幅広い分野において総合的な学習の時間の支援を行っています。

平成１４年度

支援人数	約 1,000 名
支援学校・団体数	19 校
支援回数	44 回

８月に指導者のための河川水質調査研修会、３月に「ぎふ発子供たちによる川のフォーラム２００３～これでわたしも川博士～」を開催。

平成１５年度

支援人数	約 1,110 名
支援学校・団体数	22 校
支援回数	48 回

７月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、関連イベントとして、「川の自然観察会」を開催。

平成１６年度

支援人数	約 1,700 名
支援学校・団体数	18 校
支援回数	35 回

７月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を実施。

平成１７年度

支援人数	約 1,680 名
支援学校・団体数	22 校
支援回数	35 回

７月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を実施。

平成１８年度

支援人数	約 2,050 名
支援学校・団体数	31 校
支援回数	39 回

７月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を実施。

平成１９年度

支援人数	約 2,460 名
支援学校・団体数	40 校
支援回数	54 回

８月～１１月に県主催の自然共生パネル展において、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を実施。

平成２０年度

支援人数	約 2,650 名
支援学校・団体数	39 校
支援回数	48 回

平成２１年度

支援人数	約 2,940 名
支援学校・団体数	46 校
支援回数	56 回

平成２２年度

支援人数	約 2,790 名
支援学校・団体数	44 校
支援回数	59 回

平成２３年度

支援人数	約 3,340 名
支援学校・団体数	53 校
支援回数	66 回

平成２４年度

支援人数	約 3,170 名
支援学校・団体数	45 校
支援回数	55 回

平成２５年度

支援人数	約 4,000 名
支援学校・団体数	61 校
支援回数	75 回

平成２６年度

支援人数	約 3,790 名
支援学校・団体数	62 校
支援回数	80 回

平成２７年度

支援人数	約 4,360 名
支援学校・団体数	71 校
支援回数	80 回

（参考）平成 26 年度 支援学校・団体一覧

山県市立高富小学校	関市立安桜小学校	多治見市立滝呂小学校
瑞穂市立牛牧小学校	関市立富野小学校	多治見市立根本小学校
瑞穂市立本田小学校	関市立金竜小学校	多治見市立市之倉小学校
北方町立北方西小学校	関市立瀬尻小学校	瑞浪市立土岐小学校
岐阜市立方県小学校	郡上市立大和南小学校	名古屋市立稲西小学校
岐阜市立合渡小学校	郡上市立大中小学校	多治見市立共栄小学校
岐阜市立長良小学校	郡上市立明宝小学校	土岐市立肥田小学校
子供塾 for Kaizu	郡上市立和良小学校	恵那市立岩邑小学校
垂井町立岩手小学校	七宗町立神渕小学校	恵那市立大井小学校
垂井町立表佐小学校	可児市立広見小学校	恵那市立中野方小学校
水門川の川底学習会	岐阜県立東濃高等学校	中津川立付知南小学校
養老町立上多度小学校	川辺町立川辺西小学校	中津川立蛭川中学校
海津立下多度小学校	御嵩町立上之郷小学校	下呂市立尾崎小学校
大垣市立赤坂小学校	白川町	下呂市立宮田小学校
池田町立池田小学校	白川町立白川小学校	高山市立宮小学校
岐阜県立揖斐特別支援学校	美濃加茂市立山手小学校	高山市立清見小学校
揖斐川町立谷汲中学校	土岐市立鶴里小学校	高山市立東小学校
大垣市立綾里小学校	多治見市立池田小学校	高山市立南小学校
組合立養基小学校	多治見市立昭和小学校	高山市
美濃市立牧谷小学校	多治見市立南姫小学校	飛騨市立神岡小学校
関市立上之保小学校	瑞浪市立釜戸小学校	飛騨市立古川西小学校
関市立武儀東小学校	多治見市立精華小学校	岐阜治水会
関市立博愛小学校		

支　援　窓　口　一　覧

平成２８年３月現在

所属	課、担当	TEL FAX	所管市町村名	所在地
岐阜県 県土整備部	河川課	058-272-1111 058-278-2753	県下全域	〒500-8570 岐阜市薮田南 2-1-1 岐阜県庁内
岐阜県 県土整備部	砂防課	058-272-1111 058-278-2755	県下全域	〒500-8570 岐阜市薮田南 2-1-1 岐阜県庁内
岐阜土木事務所	河川砂防課 河川第一係 河川第二係 砂防係	058-215-0978 058-215-0979 058-278-0052	岐阜市、羽島市、各務原市、 山県市、瑞穂市、本巣市、 岐南町、笠松町、北方町	〒500-8384 岐阜市薮田南 5-14-53 ふれあい福寿会館内
大垣土木事務所	河川砂防課 河川係 砂防係	0584-73-1111 0584-82-4960	大垣市、垂井町、関ヶ原町、 神戸町、安八町、輪之内町、 海津市、養老町	〒503-0838 大垣市江崎町 422-3 西濃総合庁舎内
揖斐土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0585-23-1111 0585-23-1105	揖斐川町、大野町、池田町	〒501-0603 揖斐郡揖斐川町上南方 1-1 揖斐総合庁舎内
美濃土木事務所	河川砂防課 河川係 砂防係	0575-33-4011 0575-33-4901	関市、美濃市	〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2 中濃総合庁舎内
郡上土木事務所	河川砂防課 河川係 砂防係	0575-67-1111 0575-65-4966	郡上市	〒501-4292 郡上市八幡町初音 1727-2 郡上総合庁舎内
可茂土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0574-25-3111 0574-25-0355	美濃加茂市、可児市、坂祝町、 富加町、川辺町、七宗町、 八百津町、白川町、東白川村、 御嵩町	〒505-8508 美濃加茂市古井町下古井 2610-1 可茂総合庁舎内
多治見土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0572-23-1111 0572-25-7224	多治見市、土岐市、瑞浪市	〒507-8708 多治見市上野町 5-68-1 東濃西部総合庁舎内
恵那土木事務所	河川砂防課 河川係 砂防係	0573-26-1111 0573-26-0417	中津川市、恵那市	〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71 恵那総合庁舎内
下呂土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0576-52-3111 0576-52-1948	下呂市	〒509-2592 下呂市萩原町羽根 2605-1 下呂総合庁舎内
高山土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0577-33-1111 0577-33-1086	高山市 （旧国府町、上宝村を除く）、 白川村	〒506-8688 高山市上岡本町 7-468 飛騨総合庁舎内
古川土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0577-73-2911 0577-73-3346	飛騨市、 高山市（旧国府町、上宝村）	〒509-4263 飛騨市古川町上野 617-1

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知 清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創 ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

伝 清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

清流の国ぎふ

平成２７年度版 川を題材とした 総合的な学習の時間 活動事例集

岐阜県県土整備部河川課・砂防課

岐阜県河川協会・岐阜県砂防協会

〒500-8570　岐阜市薮田南 2-1-1

ＴＥＬ　058-272-1111（代表）

ＦＡＸ　058-278-2753 (河川課)

ＵＲＬ　http://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kasen/kasen/11652/

ＭＡＩＬ　c11652@pref.gifu.lg.jp（河川課）

平成 28 年 3 月発行